

全国都市緑化かわさきフェア基本・実施計画策定の進捗状況

全国都市緑化かわさきフェア基本・実施計画原案【本編】



COLORS,
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会

令和5年5月29日

第1章 全国都市緑化かわさきフェアの概要

1. 背景と目的	3	(4) 出展展示	40
2. 市制100周年記念事業について	4	(5) 植物調達・管理	42

第2章 みどりのまちづくり

1. みどりのまちづくりに向けて	6	(6) 行催事	43
2. 取組姿勢・目指すべき将来像	7	(7) 協賛金	50
3. 基本理念	8	(8) 飲食・物販	51
4. みどりのまちづくりの実現に向けた考え方	9	(9) 会場運営・管理、交通輸送	52

第3章 全国都市緑化かわさきフェア 行催事等計画

1. 基本的事項	14
2. 行催事等計画の基本的な考え方	15
3. 開催のコンセプト・基本方針	16
4. 行催事等計画	
(1) 協働推進	17
(2) 観客誘致・広報宣伝	23
(3) 会場	25

第1章 全国都市緑化かわさきフェアの概要

1. 背景と目的
2. 市制100周年記念事業について



1. 背景と目的

川崎市は、令和6（2024）年7月に市制100周年を迎えます。

豊富な水資源を背景に、臨海部を中心に工業が発展するとともに、徐々に北部に向かって都市が開発がされ、多くの樹林地が失われましたが、それと引き換えに利便性の高い都市が生まれてきました。

今、川崎市では、環境先進都市として持続的な発展を目指し、積極的にSDGsの達成や脱炭素社会の実現に寄与する取組を進めています。

また、近年では社会状況や市民のライフスタイルの変化に伴い、暮らしの中にみどりを取り入れる動きが広がるなど、みどりの価値が大きく見直されています。

これまでの川崎の100年を振り返り、これからの川崎をどのようなまちにしていくのか？

川崎だからできることって何なのか？

そして、みどりが持つ力を使って、川崎らしく、次の100年により豊かな環境をどうつないでいくのか？

緑化フェアは、こうした川崎のみどりの歴史、資源、強みなどを活かし、改めてみどりについて市民の皆さまと一緒に考え行動することで、川崎の新たなみどりの文化を醸成し、誰もが住み続けたいまちへとつなげていく、そのための大きなチャンスであると考えます。

高度に都市化が進んだ川崎市で開催することで、“川崎らしいみどり”を全国に向けて発信していきます。



<かわさきフェア開催の意義>

- 1 市民が暮らしの中で、積極的にみどりを取り入れるためのきっかけをつくること
- 2 みどりに関する機運を高め、市民の行動につなげていく契機とすること
- 3 市民の行動が新しい川崎のみどりの文化を育み、誰もが住み続けたいまちにつなげていくこと

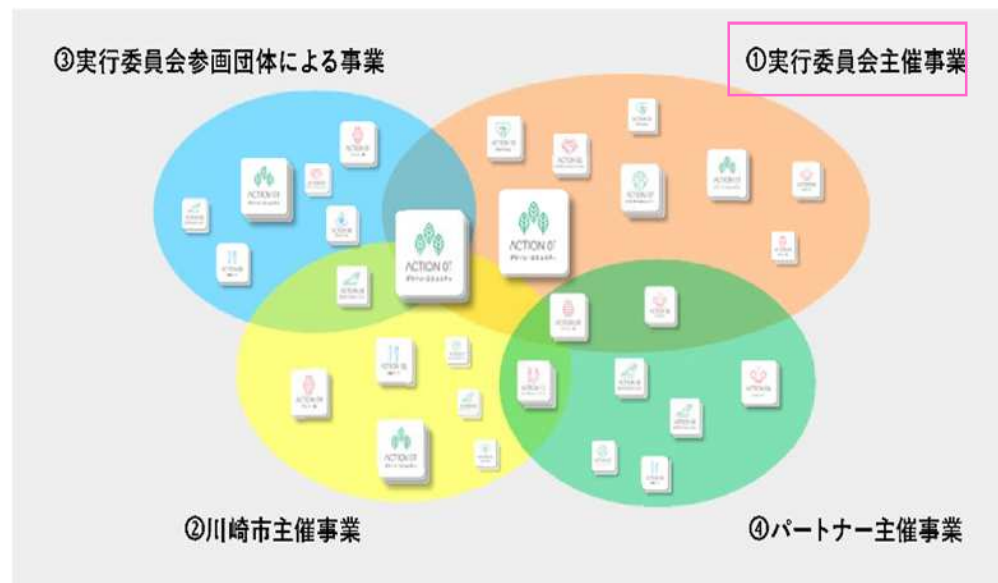
2. 市制100周年記念事業について

- 令和6（2024）年に迎える川崎市制100周年の歴史的な節目に、**川崎市ブランドメッセージ「Colors,Future!いろいろって、未来。」を事業コンセプト**とし、ブランドメッセージが意味する「多様性を認めあい、つながりあうことで、新しい魅力や価値を生み出すことができるまちを目指していく」ことを実現する機会とします。
- このコンセプトを具現化する場の設定や活動を**記念事業プラットフォーム「Colors,Future!Actions」と総称して、市民一人ひとり・企業・団体等が自由に参加できる活動の場を設けます。**
- 15のActionラベルを目印として、市内のさまざまな主体が重なりあい、つながりあいながら「Colors,Future!Actions」を展開します。
- 市制100周年記念事業の**象徴的事業として「全国都市緑化かわさきフェア」を令和6（2024）年度に開催**します。

【記念事業の分類】

大きく分けて、以下の4つの事業により実施していきます。それぞれの主体が連携し、関連しながら事業を展開します。

市制100周年を機に、
川崎市を「知って関わって好きになってもらう」取組を推進
⇒**シビックプライド（川崎への愛着と誇り）を醸成**



第2章 みどりのまちづくり

1. みどりのまちづくりに向けて
2. 取組姿勢・目指すべき将来像
3. 基本理念
4. みどりのまちづくりの実現に向けた考え方

1. みどりのまちづくりに向けて

緑には、環境保全、レクリエーション、防災、景観形成などの主要な機能や効果がある他、自然環境教育、中心市街地活性化、観光、産業振興、健康福祉、子育て・情報交換等の場としての多様なポテンシャルがあります。

多発する自然災害や新型コロナウイルス感染症の影響など社会状況が大きく変化する中で、緑とオープンスペースにおいては、従来のコミュニティ活動の場やグリーンインフラ、人々のストレス緩和や運動不足の解消など健康的に過ごせる場としてだけでなく、テレワーカーの作業場所やフィットネス利用、キッチンカーの配置による賑わいの創出など、利用形態の多様化や柔軟な活用に対するニーズが高まっています。

こうしたことから、緑を取り巻く社会状況の変化や市民ニーズの多様化に柔軟に対応しながら、緑の機能を十分に発揮させるとともに、その多様な効果を実感できるようにする必要があります。

かわさきフェアでは、生物多様性がもたらす水や空気の浄化、食料や資源の供給、暑熱化の緩和、人々の心を豊かにして安心感をもたらすといった、多様な機能と効果を含めて「みどり」として捉えています。

みどりが持つ多様なポテンシャルを、川崎の共有の財産として認識するとともに、みどりが持つポテンシャルを最大限に活用して、みどりの多様な効果が実感でき、人々が暮らしやすく住み続けたいまちとするため、市民や企業、行政などの多様な主体が将来像を共有しながら、みどりのまちづくりに取り組んでいくことが重要です。

みどりのまちづくりに取り組むにあたっては、一人ひとりが持続可能なまちづくりなどのSDGsの趣旨を十分に理解しつつ、目指すべき将来像を描きながら取組を進める必要があります。また、市民や企業、団体など多様な主体との連携を図りながら、経済・社会・環境の三側面の調和や統合的な向上を目指した取組を推進することが重要です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



2. 取組姿勢・目指すべき将来像

昨今の社会状況の変化等を踏まえ、かわさきフェアを契機として、みどりが持つポテンシャルを最大限に活用して、ウェルビーイング※を実現し、住み続けたいと思われ続けるようなまちをつくるため、目指すべき将来像を設定します。

その将来像の実現を目指し、かわさきフェア開催以降にもつながる様々な取組を、かわさきフェア開催前から展開していきます。

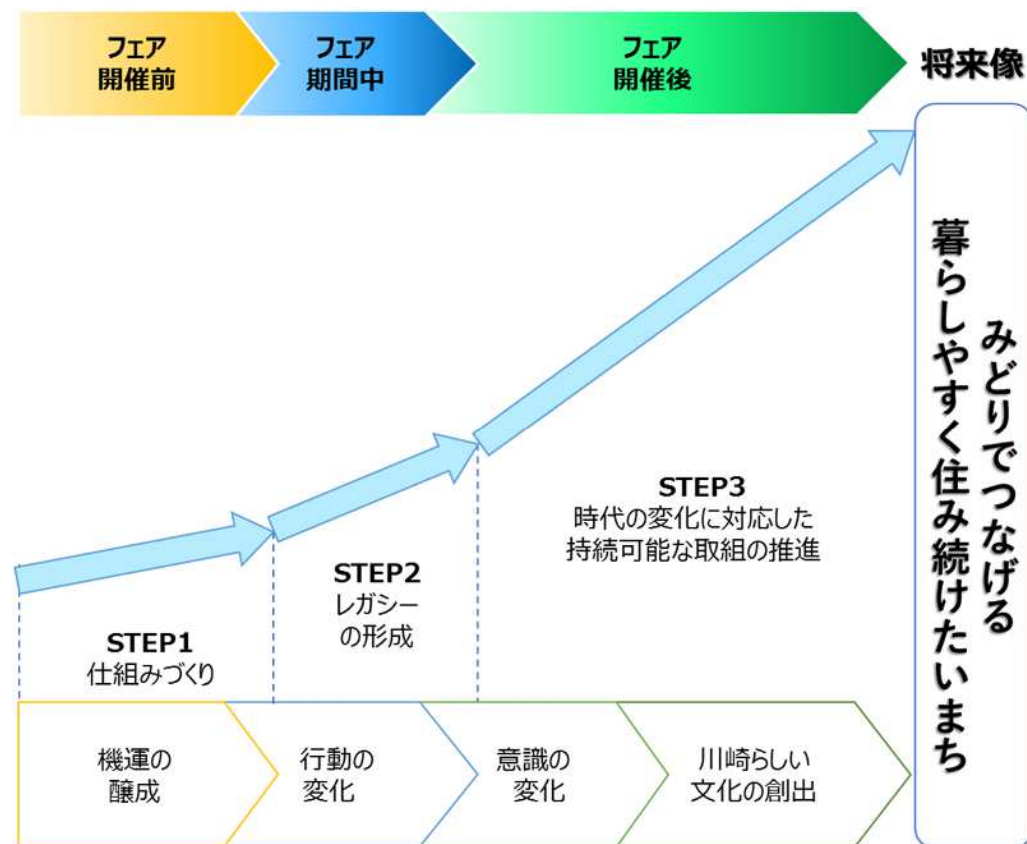
※ウェルビーイング

現代的ソーシャルサービス(社会福祉事業)の達成目標として、個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念。昭和21(1946)年の世界保健機関(WHO)憲章草案において、「健康」を定義する記述の中で「良好な状態(well-being)」として用いられた。最低限度の生活保障のサービスだけでなく、人間的に豊かな生活の実現を支援し、人権を保障するための多様なソーシャルサービスで達成される。(出典:「知恵蔵」(株)朝日新聞出版発行)

将来像

みどりでつなげる、暮らしやすく住み続けたいまち

＜目指すべき将来の実現に向けた展開イメージ＞



3. 基本理念

かわさきフェア開催の意義を踏まえ、次の100年に向けて、川崎の持つ多様なみどりの力を使って、川崎の強みを活かしながら、川崎の持続的な発展を目指していくため、基本構想を踏襲し、基本理念を設定し以下に示します。

<基本理念>

- I. かわさきフェアは、「みどりが持つ力を、未来の川崎に向けて、**みんなが暮らしの中で上手に活用する取組**」を推進します。
- II. 川崎の**多様な人・暮らし・みどりを結びつける**ことで、フェア終了後も続く「**みどりのムーブメント**」を推進します。
- III. かわさきフェアのレガシーとなる地域愛を持った市民が、**次の100年に向けて、川崎らしくより豊かな環境をつないで**いきます。

4. みどりのまちづくりの実現に向けた考え方

(1) 川崎市の特徴および次の100年に向けた考え方

川崎市は、遡れば江戸時代の東海道川崎宿などをルーツとし、**港湾/工場/農業**といった産業を主軸として近代化が実現されました。

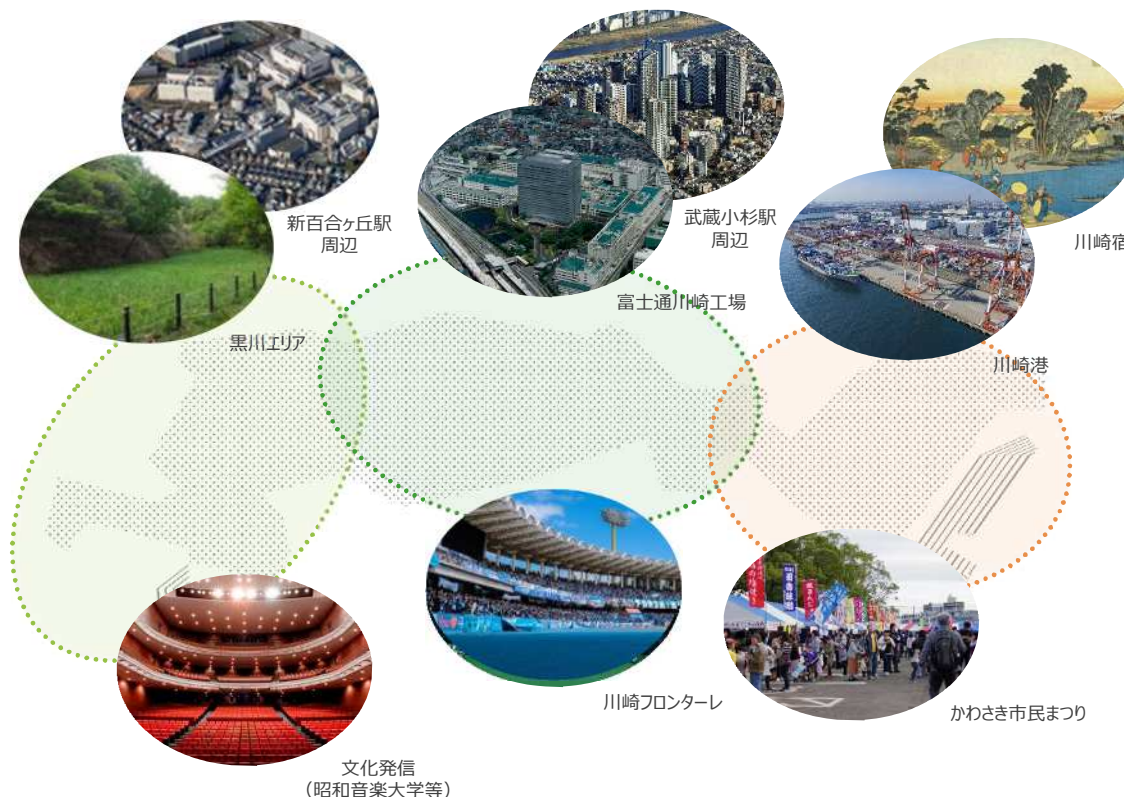
また、東京都心部に対する**ベッドタウン**としての役割も担っています。

さらに、音楽、映画、スポーツ、まつりなど、川崎らしい**文化資源**も多くあります。

これらの特徴は、市内の各エリアの特性に応じて発展されてきた歴史があり、**エリアごとのイメージとしても定着**しています。



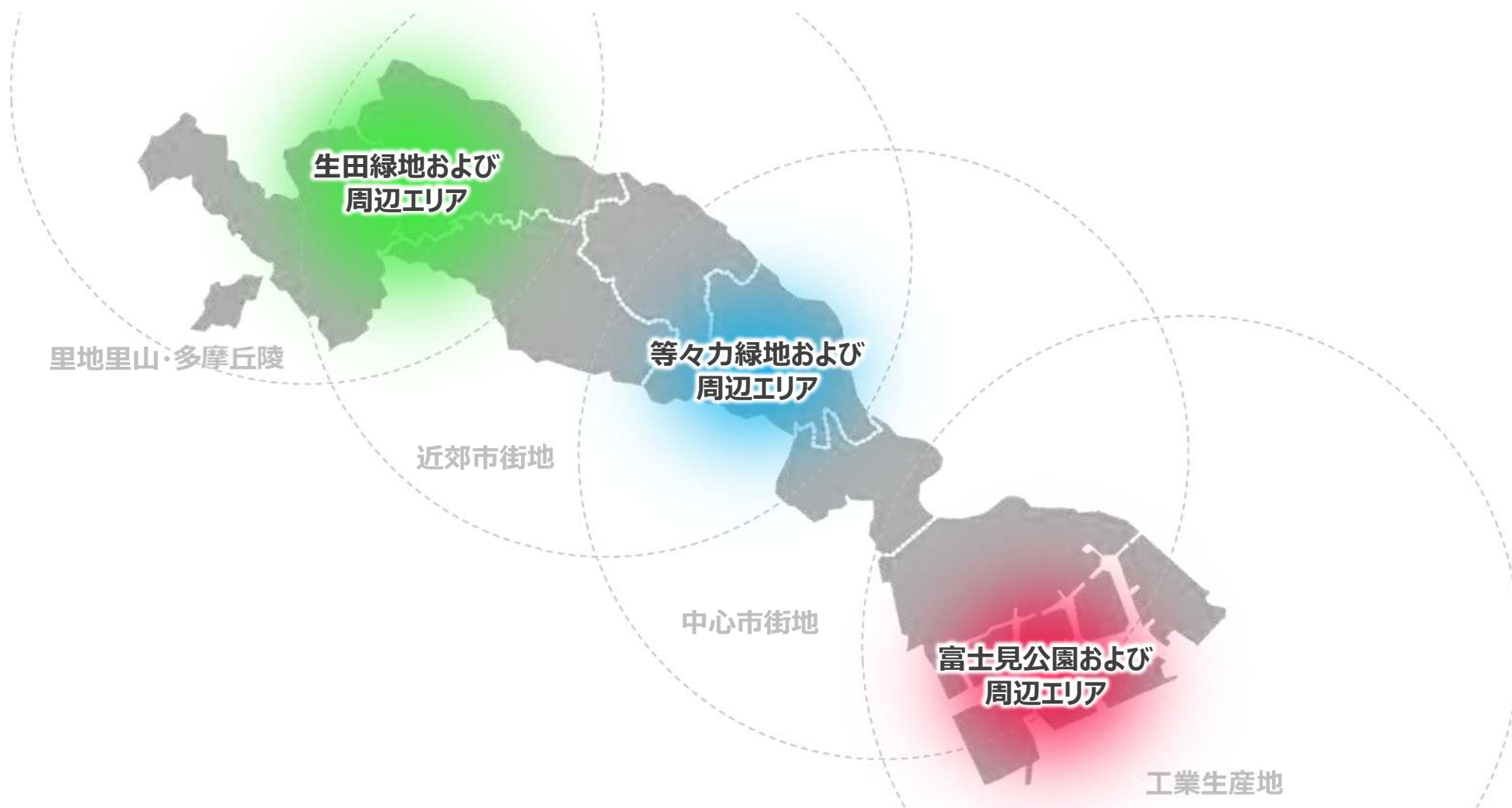
次の100年を考えると、デジタル技術の進化やテレワークの浸透など、産業の区分けやワーク/ライフの境界も曖昧になっています。**機能を分けて先鋭化するだけでなく、機能を重ねて混ぜ合わせて、多様なライフスタイルの実現**を提案します。



4. みどりのまちづくりの実現に向けた考え方

(2) 市内全域で進めるみどりのまちづくり

川崎市は工業生産地から里地里山までの様々な特性をもった都市が併存しており、特性が異なった立地3つの総合公園とその周辺エリアを中心として、市内の身近なみどりとオープンスペースにおける日常の活動や取組の充実を図り、市内全域でみどりのまちづくりを進めていきます。



(3) みどりの役割

《みどりの特性や役割》

みどりは、環境を良くする。



緑化の量を増やすだけでなく、バイオフィリックデザイン、レインガーデンやエディブルガーデンなどの質の向上に資する取組みにより、環境性能の向上が期待できる



みどりは、人をつなげる媒介になる。



花を育てることや野菜を収穫することなど、みどりを介して人と人がつながるためのキッカケとなることが期待できる



みどりは、新しい風景をつくる。



街全体が彩られる、人々が花を持って歩いている、緑豊かな公園の中で活動するなど、工夫次第で新しい風景やライフスタイルが生まれる



※「みどり」の考え方

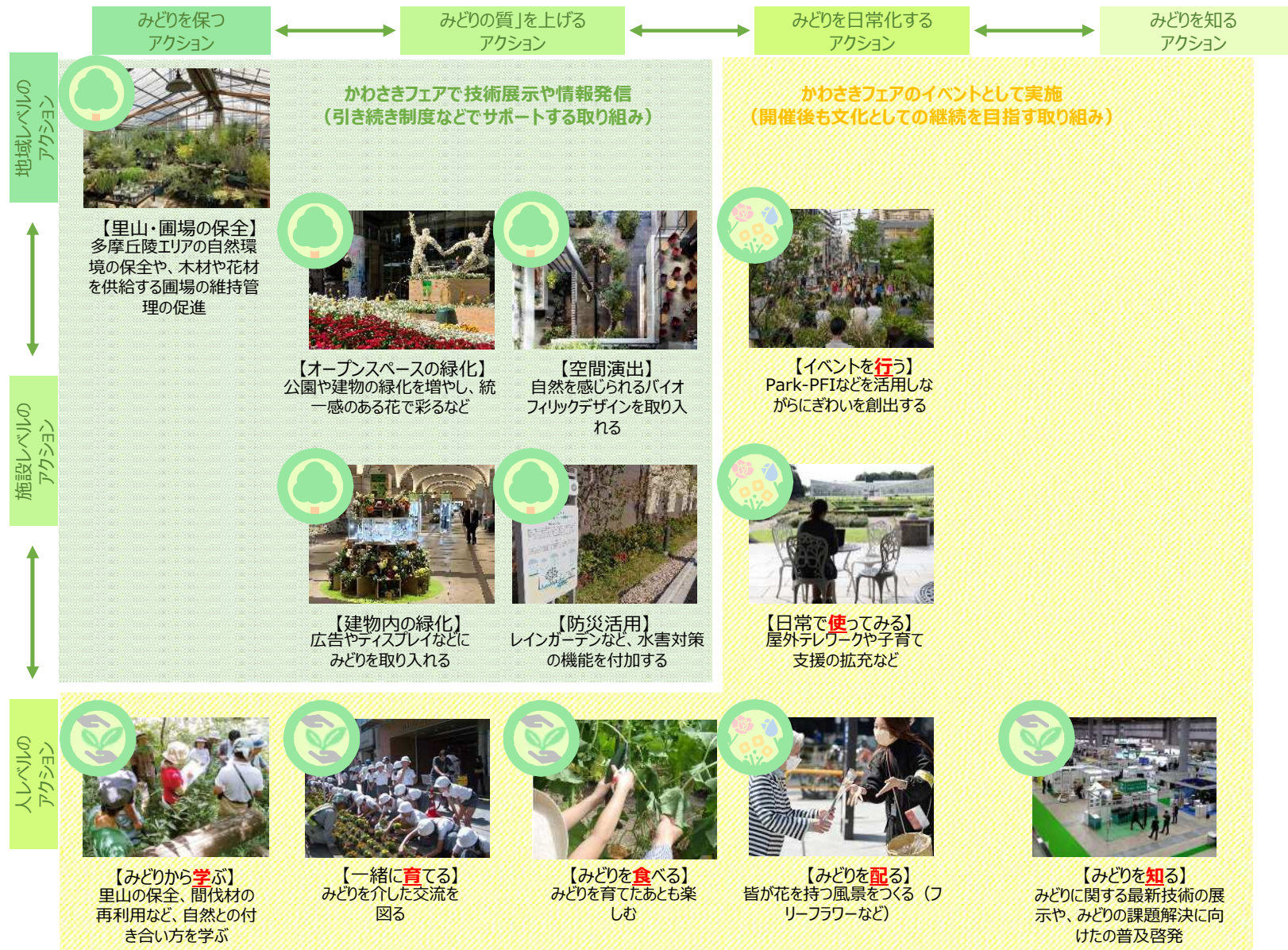
かわさきフェアでは、生物多様性がもたらす「基盤サービス」（光合成、栄養循環、水や空気の浄化）・「供給サービス」（食料や資源の供給）・「調整サービス」（暑熱化の緩和や災害軽減）・「文化的サービス」（精神充足、レクリエーション）の4つの「生態系サービス」も含めた多様な機能と効果を「みどり」として捉えるものとします。

なお、漢字の“緑”は川崎市緑の保全及び緑化の推進に関する条例第2条第1項に基づき、樹木等の植物、樹林地、水辺地、農地等の自然環境を有する土地及び空間並びにそこに生息する動植物の育成基盤である土、水等の自然の要素とします。

4. みどりのまちづくりの実現に向けた考え方

(4) みどりに関するアクションメニュー

右に例示するアクションを川崎市全体に波及させることを目指しながら、地域の特性に応じた具体的なアクションを検討します。



第3章 全国都市緑化かわさきフェア 行催事等計画

1. 基本的事項
2. 行催事等計画の基本的な考え方
3. 開催のコンセプト・基本方針
4. 行催事等計画
 - (1) 協働推進
 - (2) 観客誘致・広報宣伝
 - (3) 会場
 - (4) 出展展示
 - (5) 植物調達
 - (6) 行催事
 - (7) 協賛金
 - (8) 飲食・物販
 - (9) 会場運営・管理、交通輸送



1. 基本的事項

ア 名称・愛称

- <名称> 第41回 全国都市緑化かわさきフェア
<愛称> 「Green For All KAWASAKI 2024」

イ 主催者等

- 主催者 : 川崎市、公益財団法人都市緑化機構
実施主体 : 川崎市市制100周年記念事業・全国都市
緑化かわさきフェア実行委員会

ウ 開催期間

- 令和6年10月19日(土)～11月17日(日) (30日間)
令和7年 3月22日(土)～ 4月13日(日) (23日間)

エ 会場

- コア会場 : 富士見公園、等々力緑地、生田緑地
協賛・連携会場等 : 公園緑地、河川、駅前広場、道路空
間、庁舎、商業施設・商店街、民有
地など

オ 入場方式

- ・ 基本的に入場料は無料。
- ・ 既存の有料施設が会場となる場合、現行の課金体系を
基本に検討します。

カ 入場者規模・概算事業費

(検討中)

キ 統一主題 (テーマ)

「みどりで、つなげる。みんなが、つながる。」

ク シンボルマーク

みどりをツールに、人と人、人と暮らしが緩やかにつながっていく様子を、区の数である7枚の葉を重ね、市民の活動(アクション)がさらに広がっていくイメージを、多彩な色でロゴ全体を花に見立てて表現しています。



2. 行催事等計画の基本的な考え方

全体 100 記念事業のコンセプト「Colors, Future! いろいろって、未来。」
→広報のコンセプト「知って、関わって、好きになってもらう」

フェア テーマ 「みどりで、つなげる。みんなが、つながる。」

フェア ●全国フェア 『**みどりの効果**』を感じさせる
(利用価値) コミュニティ・健康・レクリエーションの場、リラックス効果
(存在価値) 水・空気の浄化、リラックス効果

●かわさきフェア 『**都市のなかのみどりの価値**』を感じさせる

まちの歴史や都市構造、
居住者層等によって異なる

地域差

個人差

人それぞれ、**みどりとつながり方**
(価値の感じ方)が異なる

- **自分にとってのみどりとつながり方を見直すきっかけ**にする。
- **ハレの日だけでなく日常にみどりを感じられる様々なライフスタイルを提案。**
- 各コア会場周辺エリアでは、地域の歴史やコンセプト等に応じた川崎市のみどりの価値を感じさせる**仕掛けを、市民、企業、団体など市民総参加で作りあげる。**

3. 開催のコンセプト・基本方針

かわさきフェアでは、みどりが持つポテンシャルを効果的に活用し、これまで培ってきた川崎の強みや各地域の特色を活かしながら、各分野の取組と連携して、多様な主体がつながり、行動するきっかけとする**市民総参加型のフェア**となるよう、取組を展開していきます。

<コンセプト>

Green For All! でみどりのムーブメントを起こします

<基本方針>

ア かわさきの多様なみどりの“力”を感じるフェア

- ・ 生物多様性や都市が抱える様々な課題の解決につながる、グリーンインフラの持つ多様な機能や効果の発信
- ・ 身近なみどりやオープンスペースを活用して、市民一人ひとりが生き生きと居心地よく活動できる空間の創出

イ 先端技術で新たな都市緑化の“形”をつくるフェア

- ・ フェアを通じた川崎の持つ最先端の技術、アイデアによる新しい都市緑化の実現
- ・ 市民一人ひとりのライフスタイルに対応した新しい公園の使い方の提案

ウ 多様なみどりでつながる“行動”を生み出すフェア

- ・ 市民、企業等が気軽に集い、新たな出会いやつながりを生みだす場づくり
- ・ 多様な主体がつながり、フェア開催後も、みどりに関わる様々な取組を継続・発展しながら、川崎のみどりの新たな価値を生み出していく仕組みづくり

エ 環境・社会・経済的価値を同時に実現できる“社会”を示すフェア

- ・ これまで培ってきた川崎の強み（自然環境、文化・芸術、名産品、先進技術、観光資源など）を活かして、SDGsの達成や脱炭素社会の実現に向けた、川崎のみどりが持つ多様なポテンシャルの発信

オ かわさきらしい多様性あふれる“文化”を育むフェア

- ・ これまでのみどりの歴史を振り返るとともに、未来の川崎に向けて、地域への愛着を持った市民一人ひとりが、暮らしの中でみどりと関わりながら、地域性あふれる多様な文化を育む機会の創出

4. 行催事等計画（1）協働推進

（1）協働推進

ア 協働推進の基本的な考え方

- これまでの市民協働の取組を大切にしながら、地域の団体と、未来のまちづくりを担う子どもたちや若者が出会い、新たなつながりを生み出します。
- 企業、地域の団体等を巻き込み、フェア開催以降も継続できる新たな協働、共創による仕組みの構築につなげていきます。
- 市民154万人（延べ人数）に知って、関わってもらうことを目指します。

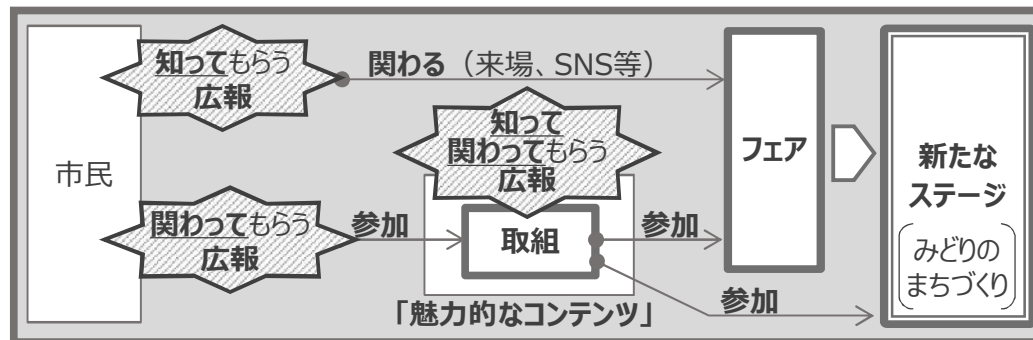
<関わり方の例>

- 例1：花壇づくり等のボランティア
身近な公園の花壇の植栽（まちの彩り・賑わいづくり）
- 例2：コア会場への来場、各種体験イベントへの参加
- 例3：自宅のみどりをSNSに投稿 等

イ 展開イメージ

- より多くの人に知って、関わってもらうため、既存イベントや取組等を活用するとともに、魅力的なコンテンツや会場における体験・体感を通じて、フェア開催前から意識醸成を図っていきます。
- また、魅力的なコンテンツ等の周知と広報を一体的に行うことで、取組を知り、関わるきっかけとなるよう積極的に情報発信していきます。

【広報と取組の一体的な仕掛け】



【動機付け（関わることの価値）】

[UP要素]

知名度、イメージ、**話題**、人脈、体調・健康、業績・収入、ブランド、趣味、**誇り・喜び**、地位・立場、美、パワー、諸能力、知識・知恵、社会貢献、性格・人格、生産性、チャンス、企業拡大、人望・名声 等

[DOWN要素]

悩み、ストレス、体重・肥満、コスト、リスク 等

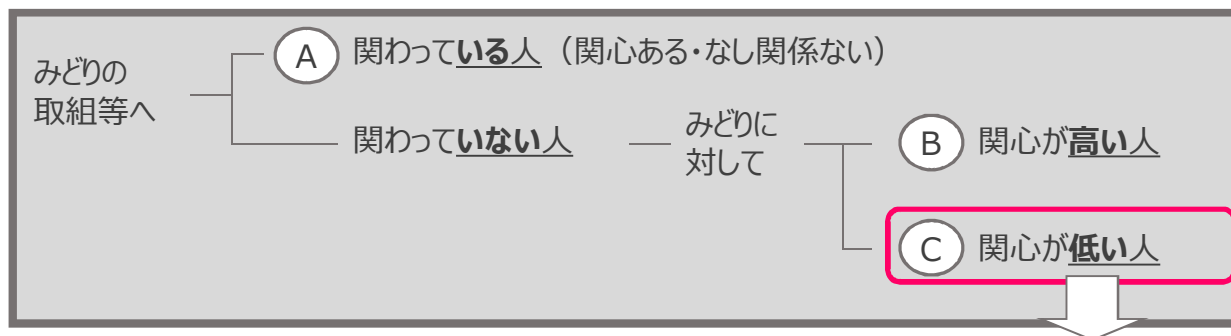
[出典]「新版 広報・PRの基本 p.54」日本実業出版社

4. 行催事等計画（1）協働推進

ア) ターゲット層の設定

より多くの人々を『みどりでつなげる』ためには、各自の関心事からアプローチすることが有効であることから、現状のみどりの取組等への関りの分類に加えて、ライフスタイルやライフステージ等に応じたターゲット層を整理します。

【みどりの取組等への関りの有無】



【ライフスタイル】

・生活圏
・職業
・生活信条
・所得

等

【ライフステージ】

・学生
・社会人
・結婚
・出産
・子どもの入学・卒業
・定年退職

等

A・B層の参加の一層の拡大に繋がる取組について着実な推進を図るとともに、特に、**Cに対するアプローチに力点**を置きます

イ) アプローチの設定

魅力的なコンテンツを生む動機付け・きっかけづくりとして、ターゲット層ごとに、各自の動機付け（関わることの価値）を意識し、きめ細やかなアプローチを設定していきます。

A B

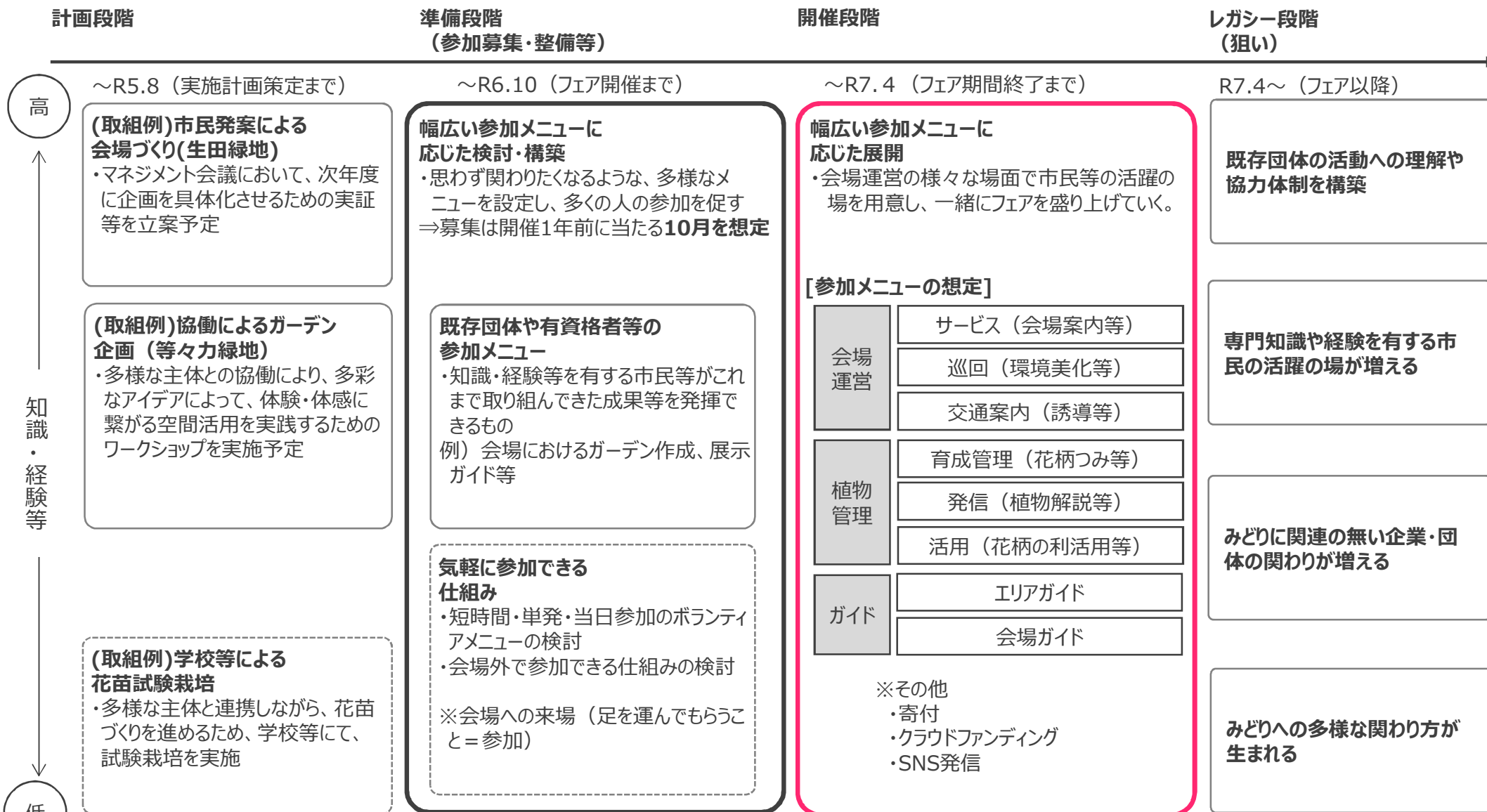
- 関わってもらうことを意識した**周知・広報と取組を展開**
- 思わず関わりたくなるような、**多様なメニューを設定**
例) 体験イベントや各種取組に係るコンテスト 等

C

- 何よりもまず、**知ってもらうことを意識した周知・広報の徹底**
- **知らないうちに 又は いつの間にか関わっている状況を作る**
- みどりととは別の動機付けを入り口とするコンテンツを用意
例) スポーツ、音楽、健康など幅広く検討。

4. 行催事等計画（1）協働推進

ウ) 取組の展開イメージ



機運醸成 ・関わってもらうことを意識した**周知・広報と取組を戦略的に展開**

4. 行催事等計画（1）協働推進

ウ 実施例

ア) 協働の花苗育成 『協働の花づくり・花かざり』 の取組



教育・学習面：「感謝」「やさしさ」などの気持ちを育み、「探究心」や「想像力」を養うなど**花育**の効果が期待される。

実施例：花育・フェアの説明(30分) + 植え付け(60分) = **90分**

途中経過

次の市立学校にて各校へ訪問し、具体的な方法について調整実施。

※最も早い学校では6月から授業・委員会活動等にて実施予定。

- ・市内小学校（3校） 宮前／下作延／柿生（開校150周年記念にて使用予定）
- ・市内中学校（6校） 富士見／塚越／東高津／菅／枳形／長沢
- ・特別支援学校（1校） ※秋の実施を目指し、調整中



R6年の連携体制想定

①花苗栽培	子ども：保育園・小中学校・特別支援学校など 団体：福祉団体・町内会・商店街など 企業：事業所緑化推進協議会・フェア実行委員会など
②種子・苗の供給	種苗会社（実行委員会加盟企業）
③栽培時のサポート	地元の花壇団体 （緑の活動団体／人材バンク／公園愛護会・協議会など） 有識者（園芸家・深町氏／大学講師・栗原氏） 公園緑地協会・家庭園芸普及協会 農業技術支援センター 緑化センター
④花苗の輸送	道路公園センター・造園組合

4. 行催事等計画（1）協働推進

イ) ターゲット層に応じた参加メニューの設定

持続可能な取組とするためには、フェア開催前から、参加者の興味や都合、知識や経験に応じて自らに合った参加方法を選択できる仕組みをつくる必要があります。ターゲットA層については、みどりへの関心も高く、すでに取組にも積極的に参加している方を想定しているため、基本的な広報での参加促進が見込めます。ターゲットB層、C層については、ライフステージやライフスタイルに鑑み、取組への参加の障壁となっている事項を解消するため、活動日、活動時間に応じた参加メニューを用意します。

活動日メニュー	活動時間メニュー
<ul style="list-style-type: none">・ ホリデー（土日祝日のみ参加）・ 平日・ イベント・ その場でボランティアほか、コンテストや体験イベントなどを検討	<ul style="list-style-type: none">・ 1日・ 半日・ 短時間（1時間～2時間程度の参加を想定）・ 放課後（学校が終わった後16:00～1時間程度の参加を想定）

ウ) 共通アイテムの設定

参加した市民が一体感を持ってつながるきっかけのひとつとして、共通のアイテムを製作します。アイテムは緑化フェアへの関わり方によって違うものを準備し、緑化フェア後もみどりの活動等で継続して使えるような実用性とデザイン性を兼ね備えたアイテムとします。

エ) みどりに対して関心が低いターゲットC層への仕掛け

- ・ 様々なかかわり方で、気が付けばフェアに参加していたという仕組みをつくり、フェアへ関わる取組を展開します。
- ・ 知らないうちにみどりに関わっている状況づくり（ナッジ理論※）を活用します。

※ナッジ理論とは、相手に選択の自由を残しつつ、小さなきっかけを与えることで、より良い選択を気分良く選ぶように促すこと。人間の意思決定の癖を利用したものであり、相手に命令することなく意図する方向へもっていくという行動経済学の理論。このナッジ理論を活用し、知らないうちにみどりの活動を行っていたという環境をつくっている仕組みを検討。

4. 行催事等計画（1）協働推進

エ ボランティアによる参加

ア) ボランティア参加の実施方針

- ・ これまで本市が培ってきた様々な既存ボランティアと連携を図りながら、フェア開催前から既存の活動を通じて募集します。また、さらなる知識・経験の蓄積を図るため、講習会等への参加を促します。
- ・ 講習会や事前活動においても「みんながつながる」ことを目指し、参加者が興味関心を持つようなコンテンツを用意し、一体感の創出、参加者同士の交流を促していきます。
- ・ 多様な主体がつながり、重なり合う「市民総参加の仕組み」の構築に向けて、かわさきフェアを自分事として捉えるよう意識の変化を促すことや参加による誇りの醸成、仲間意識の醸成等を図るために、ストーリー性を持たせた「愛称付け」を行います。

イ) ボランティアの主な業務内容

【植物管理】 園内植物維持業務サポート、植物解説、花柄の利活用 など

【会場運営サービス】 会場案内、迷子対応、落とし物サポート、貸出サポート（車椅子等） など

【会場サービス】 会場内巡回、会場管理サポート、乗車待ち列案内、環境美化、介助サービス など

【エリア巡回サポート】 会場外巡回、場外誘導、駐輪場案内、環境美化（ごみ拾い等） など

ウ) 募集計画

植物管理のボランティア募集については、開催1年前にあたる令和5年10月から実施を想定。

市民、学生、関係団体、企業等がアクセスしやすいよう、専用インターネットページからの応募など、エントリー方法を複数用意し、運営します。

4. 行催事等計画（2）観客誘致・広報宣伝

（2）観客誘致・広報宣伝

ア 観客誘致の基本的な考え方

- 広報宣伝活動及び行催事については市制100周年記念事業と連携し、みどりの取組に関わっている市民はもちろん、幅広い市民と市外からの来場促進等を図ります。
- エリアでは、フェアのコンセプトや川崎市の可能性を感じて貰うことで、関係人口を増やしていきます。

イ 観客誘致の実施方針

協働推進の考え方を踏まえて、次のとおりターゲット層を設定します。

ターゲット層		取るべき主な活動
市内	A みどりの取組等へ関わっている人	・直接のアプローチ ・HPや地域媒体を通じたパブリシティ活動
	B みどりの取組等へ関わっていない + みどりに関心のある人	・直接のアプローチ ・パブリシティ活動 ・場を活用したプロモーション
	C みどりの取組等へ関わっていない + みどりに関心のない人	・ODH広告、オンライン広告 ・関心の高いコンテンツを入口としたプロモーション活動
D 市外の人たち		・オンライン広告やPR ・花の名所等でのPR

4. 行催事等計画（2）観客誘致・広報宣伝

ウ 広報宣伝の基本的な考え方

- 観客誘致等の基本的な考え方に基づき、効果的な広報宣伝を展開します。
- 魅力的な取組を広報することで、多くの人の巻き込みを狙います。
- 特に開期中は、まち全体でおもてなし感を醸成します。

エ 広報宣伝の実施内容

かわさきフェアの開催やみどりの効果を知ってもらい、人と人がつながっていくきっかけとなるような各種取組を実施していきます。

ア 広報ツールの作成・活用

- 100周年+緑化フェアポスター
- のぼり旗



イ キャンペーン活動

- しおりつきフラワーカード
- エコポット

タネがついたフラ
ワカードで、土に挿す
だけで栽培ができます。



古紙を再生した
ポットは、そのま
ま植え替えば、
土に還ります。

ウ WEB・SNS活用

- 公式ホームページ

情報発信のメインサイトとして、令和5年5月1日に公開しました。開催情報だけでなく川崎市の魅力ある取組についても情報発信していきます。



R5.
5.1～
公開

エ その他

川崎市のプレスリリースやPRワイヤーを活用しながら、様々なメディアを活用して情報を発信します。

- SNS

R5.
6.1～
公開予定

各種SNSからホームページへ繋げ、より多くの人へかわさきフェアの開催や毎日の生活にみどりがある暮らし等の情報を発信します。



Instagram

自分ごと化/気づき提供



Twitter

再拡散/フォロワー数獲得



Facebook

深度の高いファンを醸成

4. 行催事等計画 (3) 会場

(3) 会場

ア 会場の基本的な考え方

みどりの効果を感じさせる会場を、大きく3つに区分します。

＜会場計画に必要な視点として5つのキーワードを整理＞	
持続可能	…未来につながる取組
すべての人	…市民総参加型のフェア
みどりでつなげる	…人とみどり、人と人のつながりを感じる
多彩なみどり	…街なかの緑地、多摩川、樹林地等を感じる
多様な効果	…様々なみどりの効果を感じる

ア) 会場区分

会場区分	定義
コア会場	<ul style="list-style-type: none"> 5つのキーワードを全て取り入れて取組を展開する会場 南部・中部・北部に位置にし、それぞれの地域性や特色ある3つの総合公園をコア会場として設定。
エリア	<ul style="list-style-type: none"> 駅からコア会場までの主要動線付近にある協賛・連携会場などを、各エリアのコンセプトを具現化して市内外からの集客を見込むエリアとして設定。
協賛・連携会場	<ul style="list-style-type: none"> 5つのキーワードを少なくとも1つを取り入れて取組を展開する会場。

イ) 会場区分ごとの取組の方向性

コア会場（富士見公園・等々力緑地・生田緑地） <ul style="list-style-type: none"> 各エリアのコンセプトを定め、川崎らしい都市の中のみどりの価値を発信。 フェアの主要な行催事等（公式行事、出展展示等）を実施するとともに、周辺の地域資源や特色を活かし、多様な主体との協働・共創による様々な取組のショーケースとなる空間を創出し、市内外から来場者を呼び込む仕掛けを展開。 グリーンインフラの効果やみどりの新しい価値等を効果的に発信。 各公園の指定管理者と連携を図り、出展展示や行催事を実施。
エリア（コア会場周辺） <ul style="list-style-type: none"> 多様な主体と連携し、オープンスペースや地域資源を活かし、みどりの効果を感じながら、安全かつ歩いて楽しめる空間づくりを展開。
協賛・連携会場 <ul style="list-style-type: none"> 市内の様々なみどりとオープンスペースを活用し、日常の活動や取組をフェアを通じて発信し、市内全域でフェアを盛り上げる一体感を醸成する。また、デジタル技術を活用し、誰もがかわさきフェアを体感し、参加できる仕掛けを取り入れる。 <p>＜協賛会場＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な公園や商業施設等を活用した、花やみどりを体験・体感できる取組。 道路沿いや公園の花壇等での花植え活動。等 <p>＜連携会場＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な主体との協働・共創による、エリア全体でフェアを感じられる取組。 多くの人が集まる駅や公共空間を活用した、コア会場へとつながる期待感等を醸成する取組。等

4. 行催事等計画 (3) 会場

ウ) 3つのコア会場およびエリアのコンセプト

かわさきフェアの3つのコア会場およびエリアのコンセプトは、地域特性を踏まえ、以下のとおり設定します。

文化・歴史 × みどり

これまでの協働の取組を活かし、歴史・文化を楽しみながら学ぶ取組を展開
人と自然とのつながりの中で、自然を感じ、楽しむことのできる機会を提供し、
新たな協働の担い手の確保や「緑地の存在効用と利用効用の調整により、両者が好循環するしくみ」につながる取組を展開

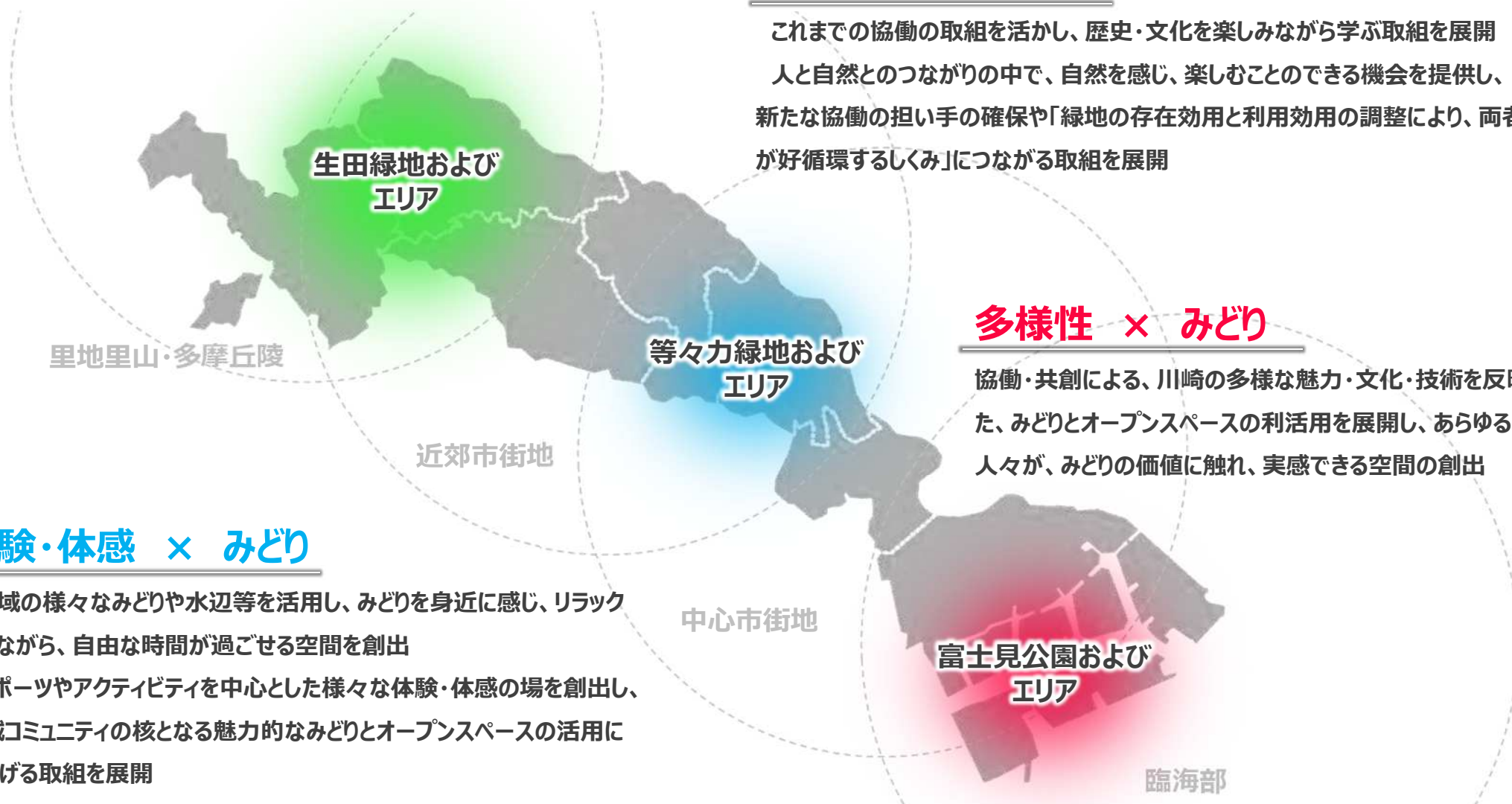
多様性 × みどり

協働・共創による、川崎の多様な魅力・文化・技術を反映した、みどりとオープンスペースの利活用を展開し、あらゆる人々が、みどりの価値に触れ、実感できる空間の創出

体験・体感 × みどり

地域の様々なみどりや水辺等を活用し、みどりを身近に感じ、リラックスしながら、自由な時間が過ごせる空間を創出

スポーツやアクティビティを中心とした様々な体験・体感の場を創出し、地域コミュニティの核となる魅力的なみどりとオープンスペースの活用につながる取組を展開



工) 2期開催を活かした取組の展開

これまでの100年 から これからの100年へ

フェア前

種まき

秋開催

芽が出る

中断期

育てる

春開催

花が咲く

フェア後

暮らしに根付く

機運醸成

市民参加花壇

プレ栽培

秋播き-春咲き
春播き-秋咲き

ボランティア募集

秋

きっかけを活かし、
参加・体験

秋からの継続
春に向けて育む

春

レガシー

みどりを知ってもらい、
みどりに関わってもらおう『**きっかけ**』づくり

**秋に手掛けた取組の成果を共有し、
実感**することでフェア後の行動に繋げる



自治体出展花壇 (事業者制作)



市民協働花壇 (市民制作)



4. 行催事等計画 (3) 会場

イ 富士見公園・エリア

ア) エリアの展開イメージ

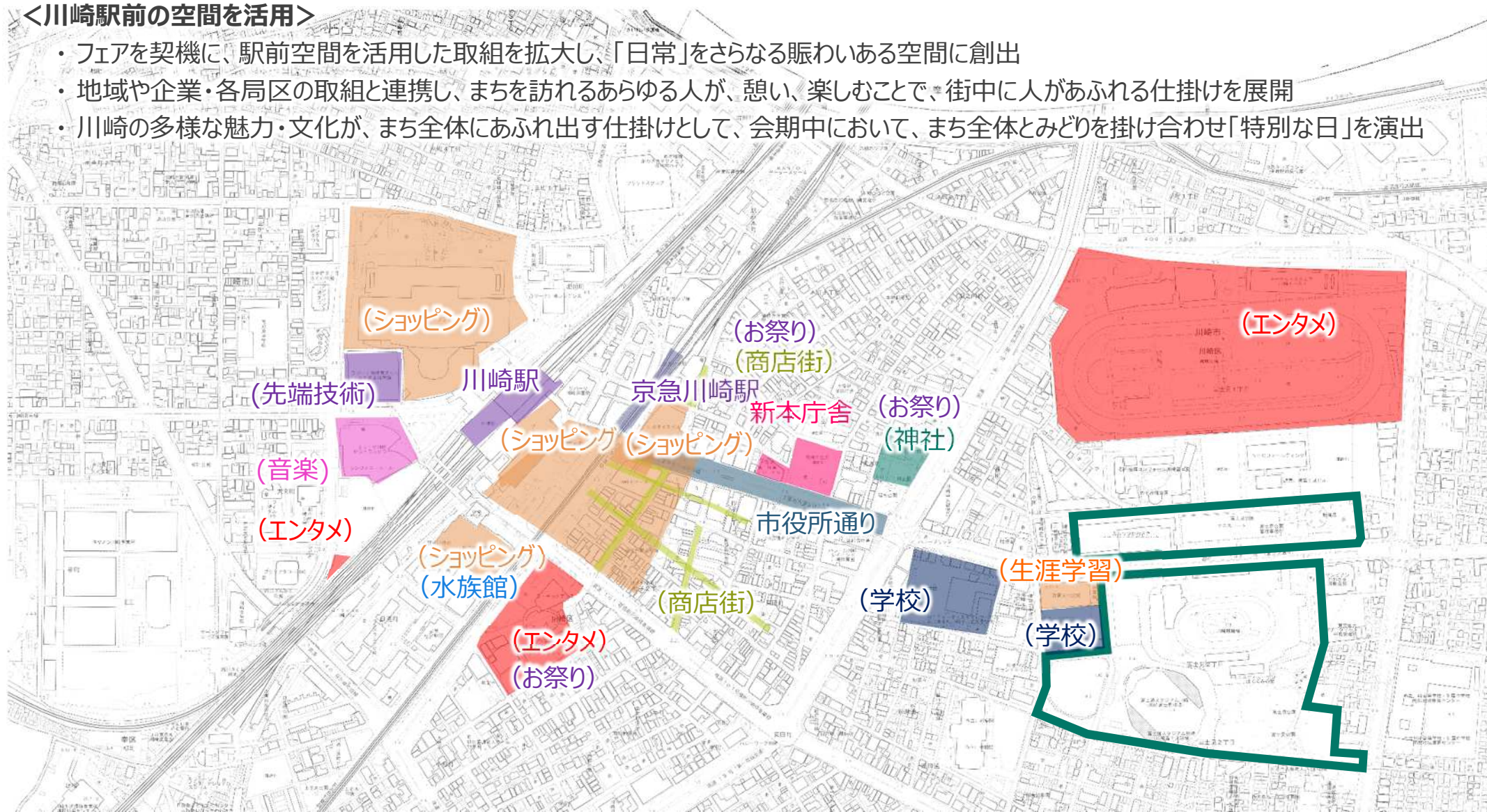
エリア全体で多様性を表現

まちを回遊することで、川崎の多様性を楽しむ

多様な主体により、それぞれの『〇〇×みどり』を表現する

<川崎駅前の空間を活用>

- ・フェアを契機に、駅前空間を活用した取組を拡大し、「日常」をさらなる賑わいある空間に創出
- ・地域や企業・各局区の取組と連携し、まちを訪れるあらゆる人が、憩い、楽しむことで、街中に人があふれる仕掛けを展開
- ・川崎の多様な魅力・文化が、まち全体にあふれ出す仕掛けとして、会期中において、まち全体とみどりを掛け合わせ「特別な日」を演出



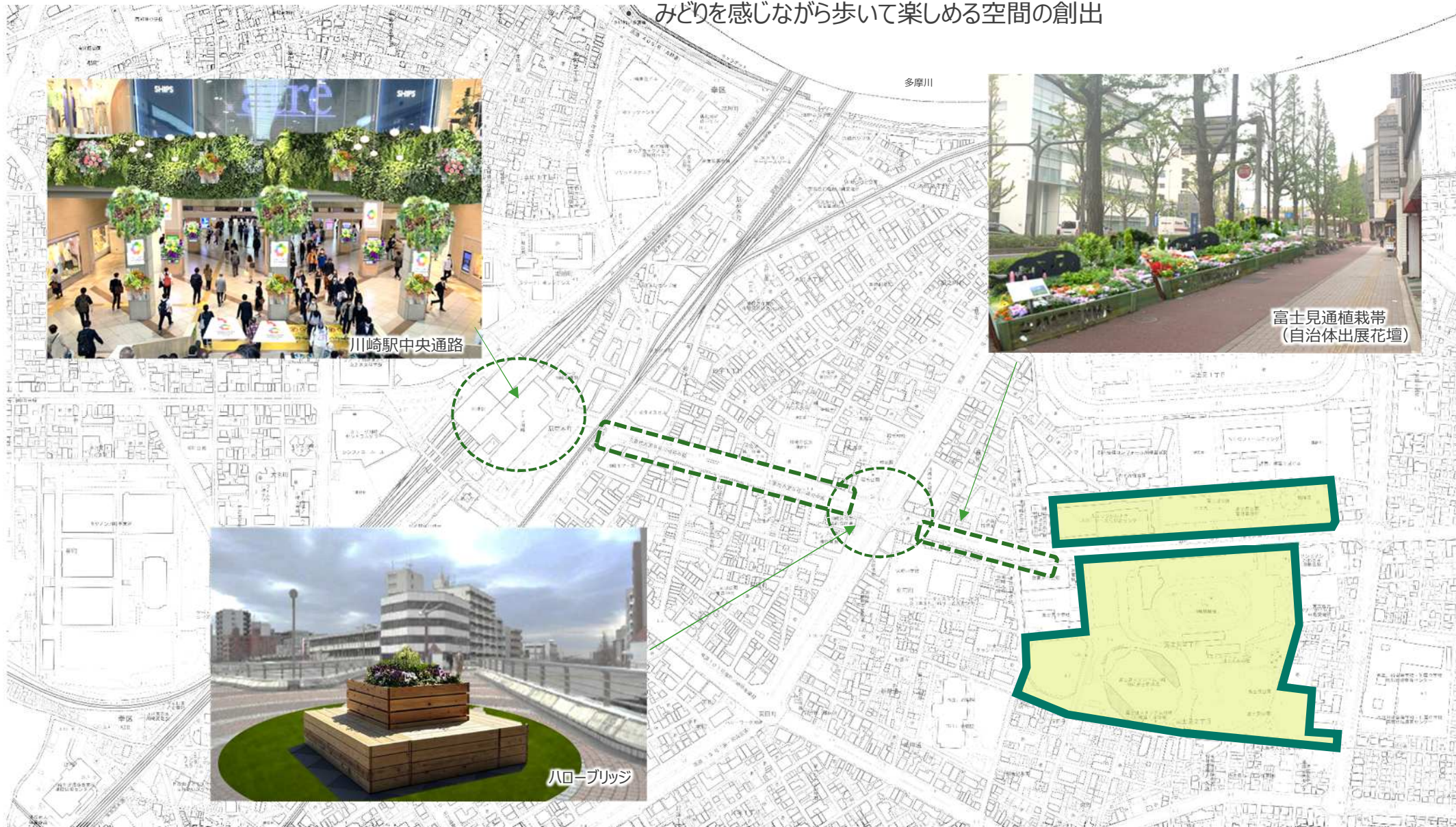
4. 行催事等計画 (3) 会場

ア) エリアの展開イメージ

富士見公園に自然と足が向くみどりの装飾

< 駅から会場までのアプローチを活用 >

- ・ フェアへの期待感を高める川崎駅からコア会場までのオープンスペースの活用
- ・ みどりを感じながら歩いて楽しめる空間の創出



4. 行催事等計画 (3) 会場

イ) 富士見公園のストーリー

『まちなかのみどりから、暮らしの中の身近なみどりにフォーカスしていく』

川崎駅から会場まで、花と緑に彩られたいつもと違うまちの風景に、ワクワク感を持って会場へ到着

① 市民協働による圧倒的な大花壇に包まれる



② 良好な都市環境の形成に寄与するみどりの多面的な価値を知る Ex) グリーンインフラ



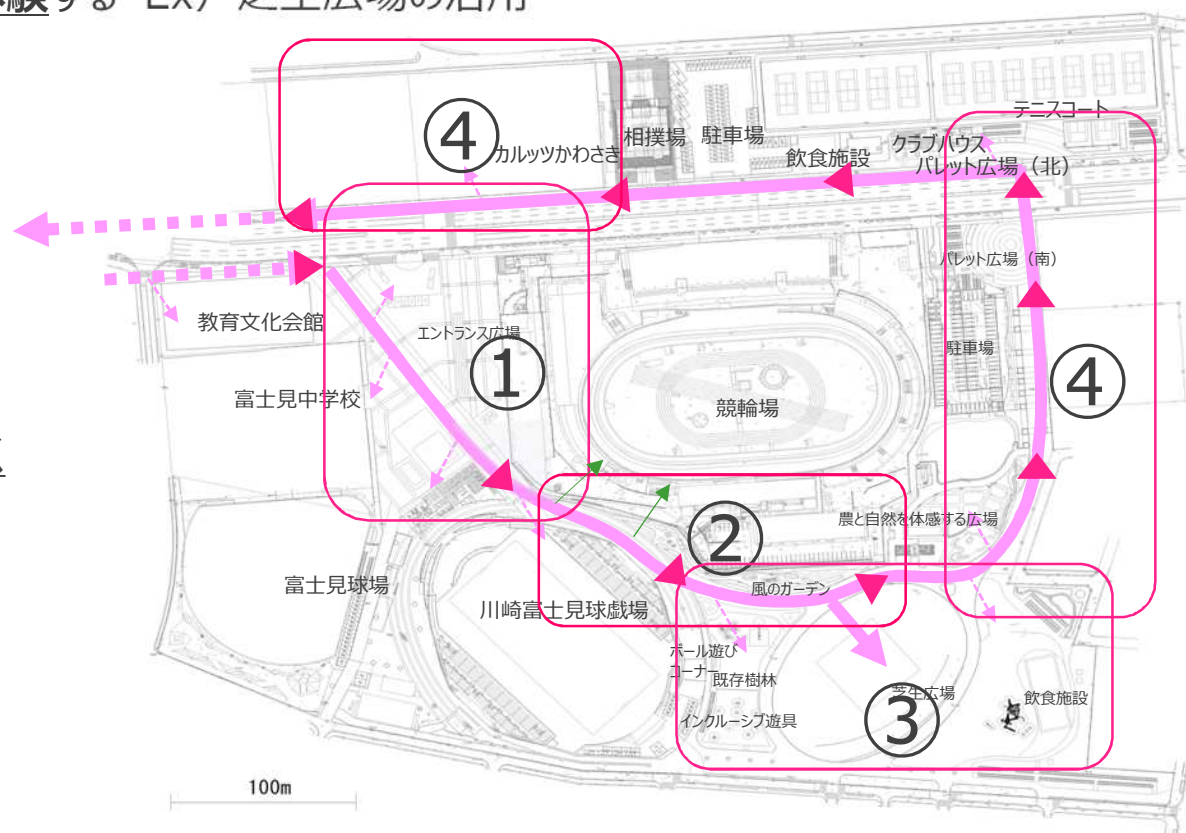
③ 心地よさを感じる公園での自由な過ごし方を体験する Ex) 芝生広場の活用



④ 市民のライフスタイルに、
身近なみどりを取り入れるノウハウを習得
Ex) 室内ワークショップ・ベランダガーデニング



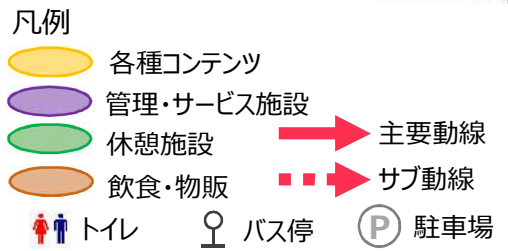
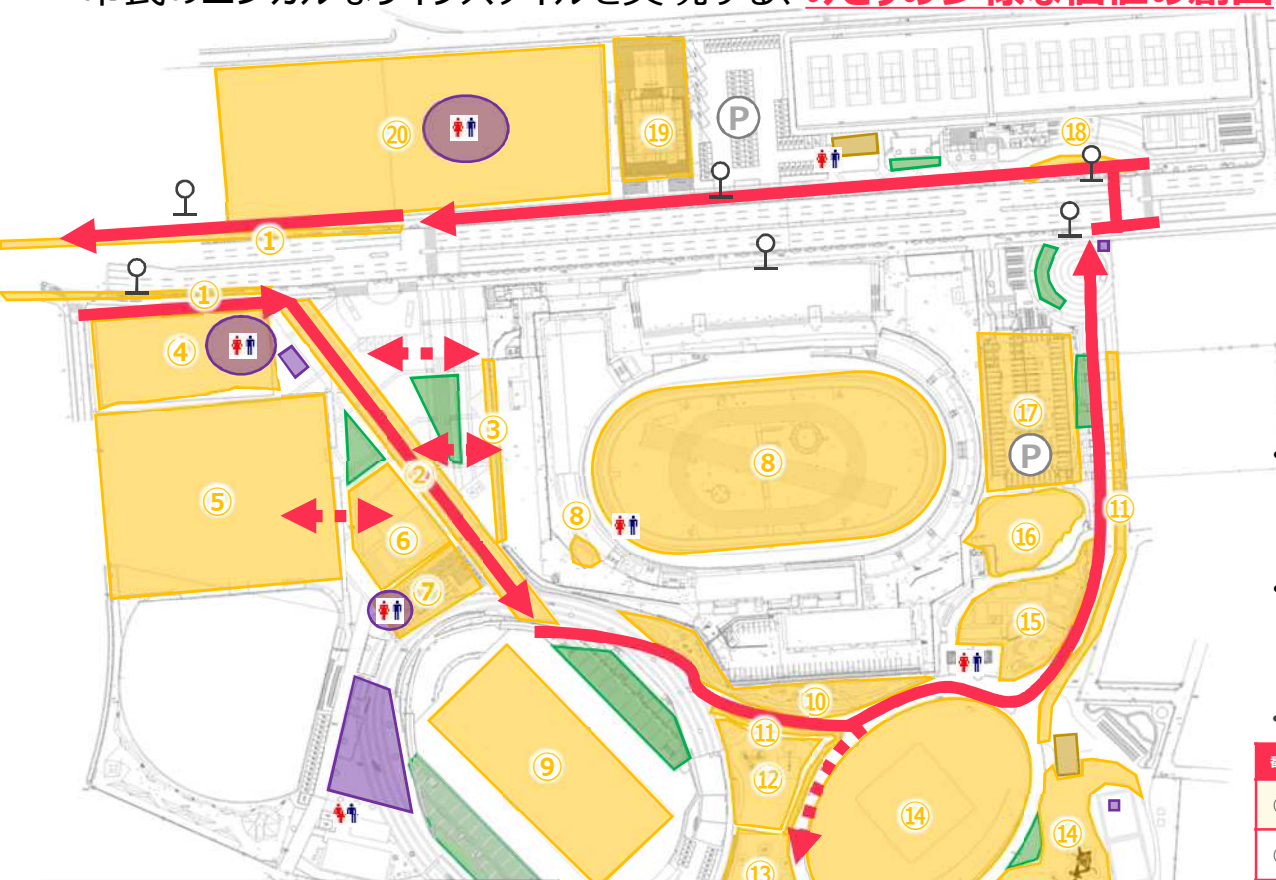
みどりをきっかけに、人と人が出会い、
コミュニティのつながりが、まち全体へと広がっていく



4. 行催事等計画 (3) 会場

ウ) 富士見公園の施設配置案

- ・コンセプト「**多様性**」×みどり
- ・**都会の中の多様なみどり**の粋を集める
- ・市民のエシカルなライフスタイルを実現する、**みどりの多様な価値の創出**



※右表の内容は今後の調整により、変更することがあります。

テーマガーデン

Colors, Future ガーデン

～みどりで、つなげる。みんなが、つながる。ガーデン～



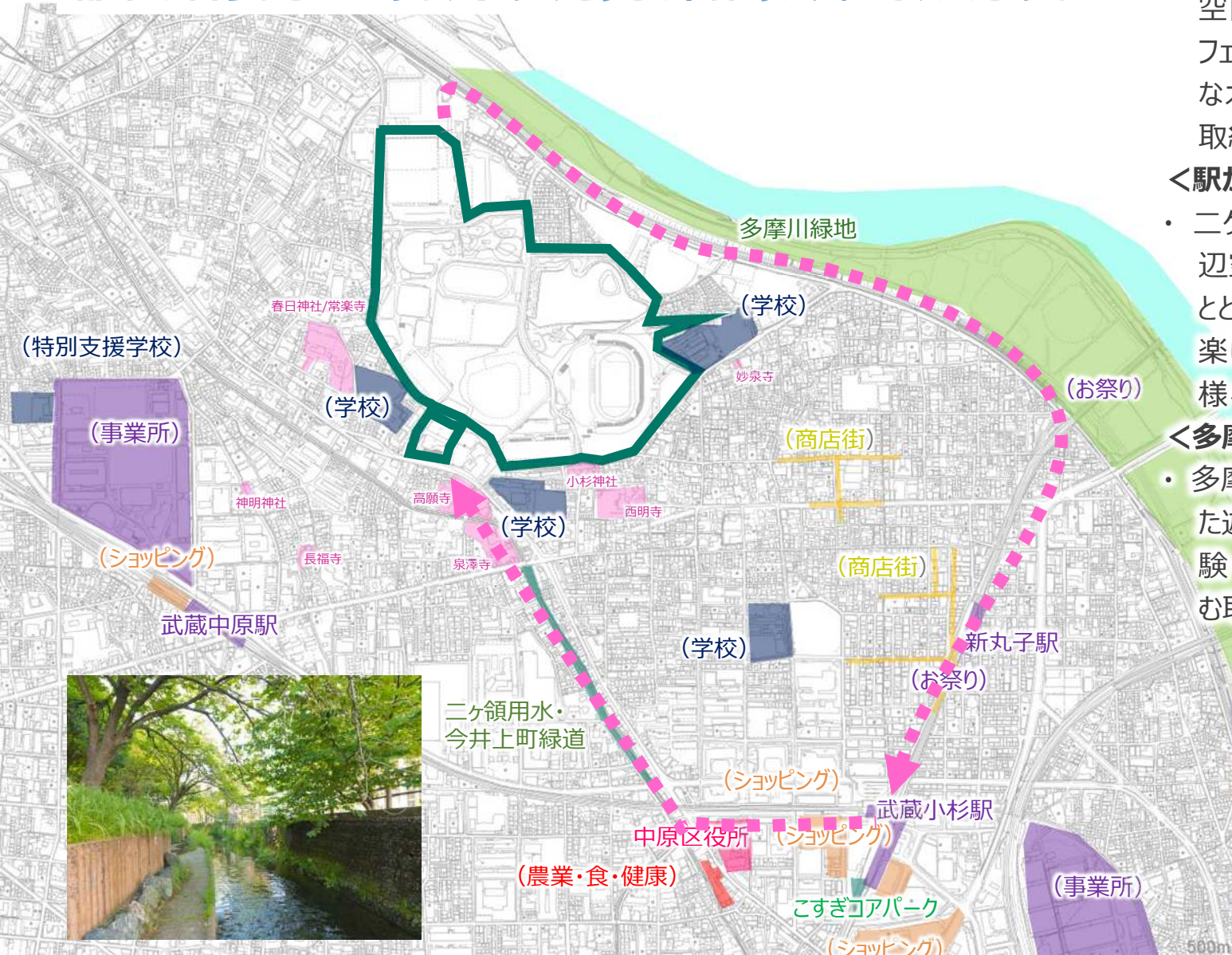
- ・花苗の育成・装飾づくりから、植え付け・組み立て、管理やガイドまで**あらゆる段階で市民を巻き込んで制作**
- ・装飾やモニュメント等によって「**川崎の多様性**」と、**未来につながる「これまでの川崎」の歩みを表現**して発信
- ・想定規模は1,000㎡程度 ※延長100m×幅5m×両側

番号	タイトル	番号	タイトル	番号	タイトル
①	自治体出展花壇	⑧	他会場と連携した体験	⑭	芝生で遊びまろう！
②	Colors, Future ガーデン	⑨	インクルーヴ公式戦	⑮	農業体験&活動募集
③	ハンギングバスケットコンテスト	⑩	グリーンインフラ展示	⑯	泥の感覚遊び！
④	バ`イオリック`ザ`インのイベント	⑪	企業等庭園コンテスト	⑰	車を使ったみどりの展示
⑤	身近な疑問の種実験	⑫	インクルーシブなみどりの体験	⑱	ハンバス作りワークショップ
⑥	ポッチャ体験	⑬	福祉分野との剪定講習会	⑲	劇場型イベント
⑦	みどりの歴史展	⑲	ポタニカルライトなど展示	⑳	国際環境技術展などの展示

4. 行催事等計画 (3) 会場

ウ 等々力緑地・エリア ア) エリアの展開イメージ

都市の暮らしと共にある、水やみどりとの関わりに気づき、実感する



<小杉駅前空間の活用>

- 市民、地域団体、企業等と連携し、駅前広場や駅周辺の民間空地、公園緑地、道路空間など、駅周辺の様々な空間において、フェア後の地域のつながりを生み出す魅力的なオープンスペースの活用につながる様々な取組を展開

<駅から会場までのアプローチ空間を活用>

- 二ヶ領用水をはじめ、身近な公園緑地、水辺空間や神社仏閣、商店街等の地域資源とともに、地域の身近なみどりの魅力にふれ楽しむことで、地域とのつながりを生み出す様々な仕掛けを展開

<多摩川を活用>

- 多摩川の豊かな水資源や水辺環境を活かした遊び・交流の空間の創出により、様々な体験・体感を通じて水やみどりとふれあい、楽しむ取組と展開

4. 行催事等計画 (3) 会場

イ) 等々力緑地のストーリー

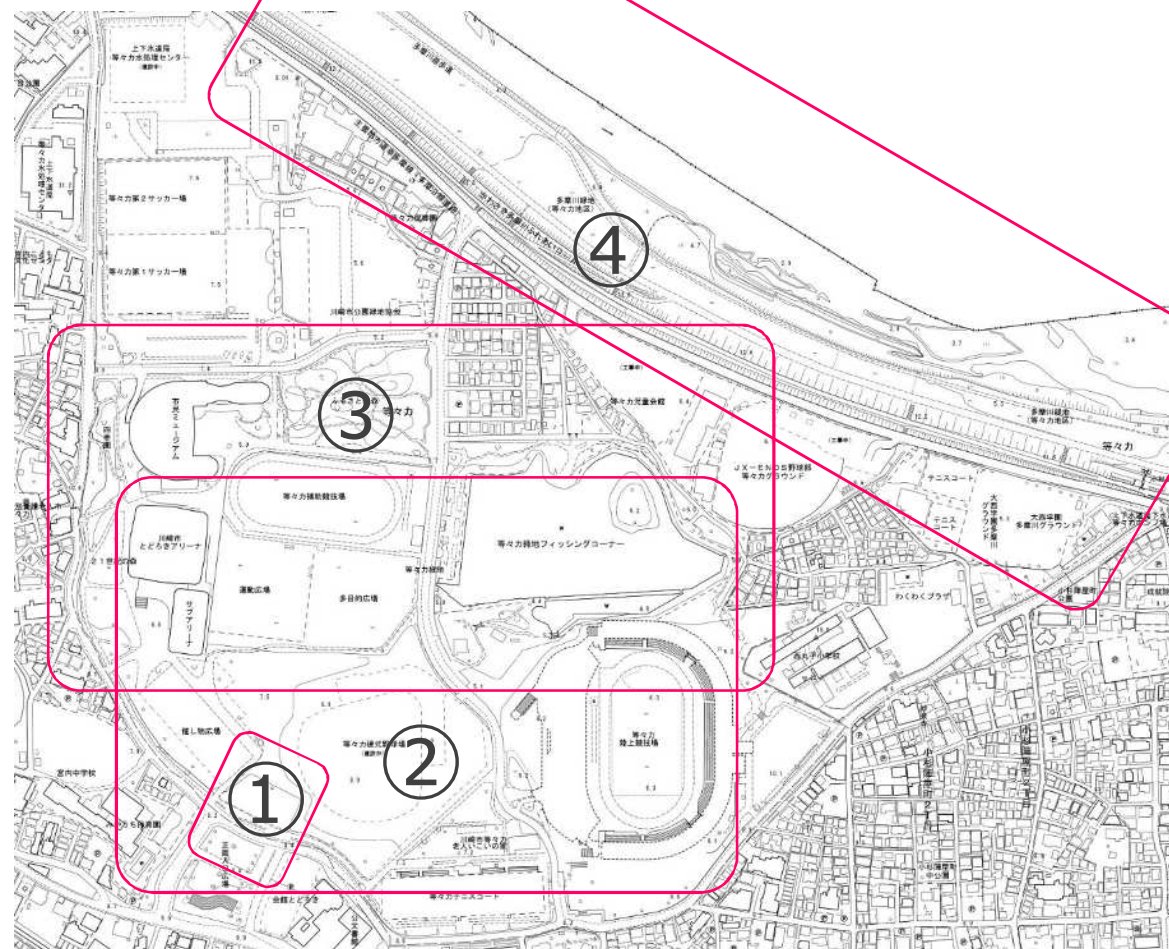
『五感で水とみどりを感じ、自らみどりの価値に気づき、都市の暮らしの楽しさを実感する』

**都市の賑わいを感じながら、まちなかを散策し、
二ヶ領用水の水とみどりを感じながら会場へ到着**

- ① 五感で感じる花やみどりを**体験・体感する**
↓
- ② 官民連携による実験的な取組を通じて、
新たなみどりの価値に気づく
↓
- ③ 水やみどりを舞台に、様々なアクティビティを体験し、
楽しさを実感する
↓
- ④ 都市を流れる大河川の豊かさを体感し、
新しいライフスタイルを創造する



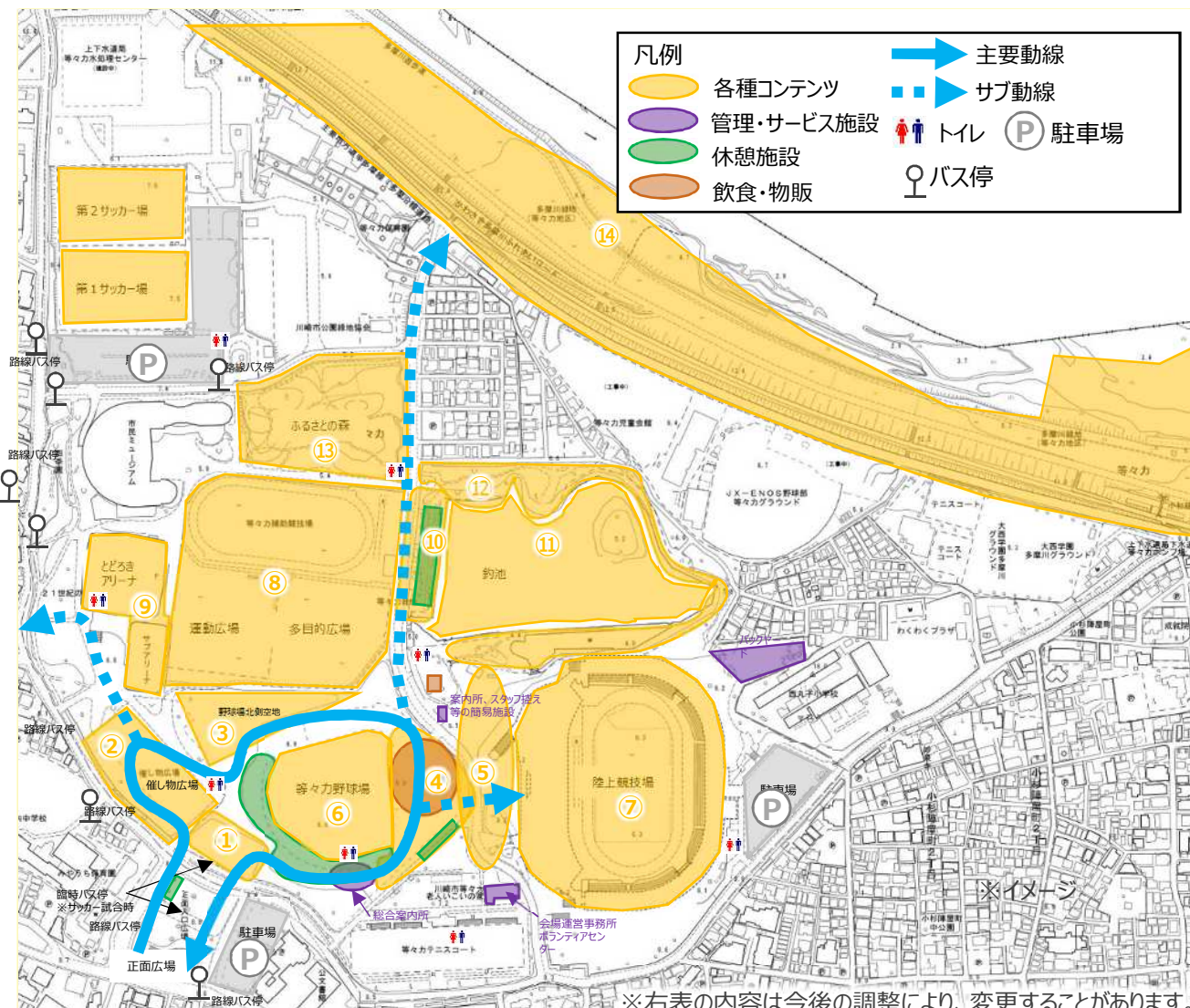
**みどりをもっとアクティブに活用する、
新しいみどりとの関係性を発見**



4. 行催事等計画 (3) 会場

ウ) 等々力緑地の施設配置案

- ・コンセプト「**体験・体感**」×**みどり**
- ・**五感で感じる**みどりのアクティビティを展開
- ・みどりをもっとアクティブに使いたおす、**みどりの新しい価値の創出**



※右表の内容は今後の調整により、変更することがあります。

テーマガーデン

アクティブガーデン Active Gardens

～「見る緑」から「五感を刺激するみどり」へ。
多彩なアイデアが織りなす体験・体感型インスタレーション～



- ・「**五感を刺激する体験・体感**」をテーマにした制作
- ・**企業との協働・共創**により花壇を制作
- ・各企業のアイデアをまとめてアクティブガーデンとして演出
- ・想定規模は500～1,000㎡ ※参加企業数により変動

番号	タイトル	番号	タイトル
①	アクティブガーデン	⑧	親子参加型イベント
②	共創の取組の実験場	⑨	スポーツイベント
③	壁面緑化・アート	⑩	アウトドアオフィス
④	マルシェ	⑪	花いかだ
⑤	クリーンアップイベント	⑫	水辺の散策・ネイチャーゲーム
⑥	芝生の活用	⑬	自然体験学習
⑦	スポーツ体験	⑭	多摩川の散策

4. 行催事等計画 (3) 会場

イ) 生田緑地のストーリー

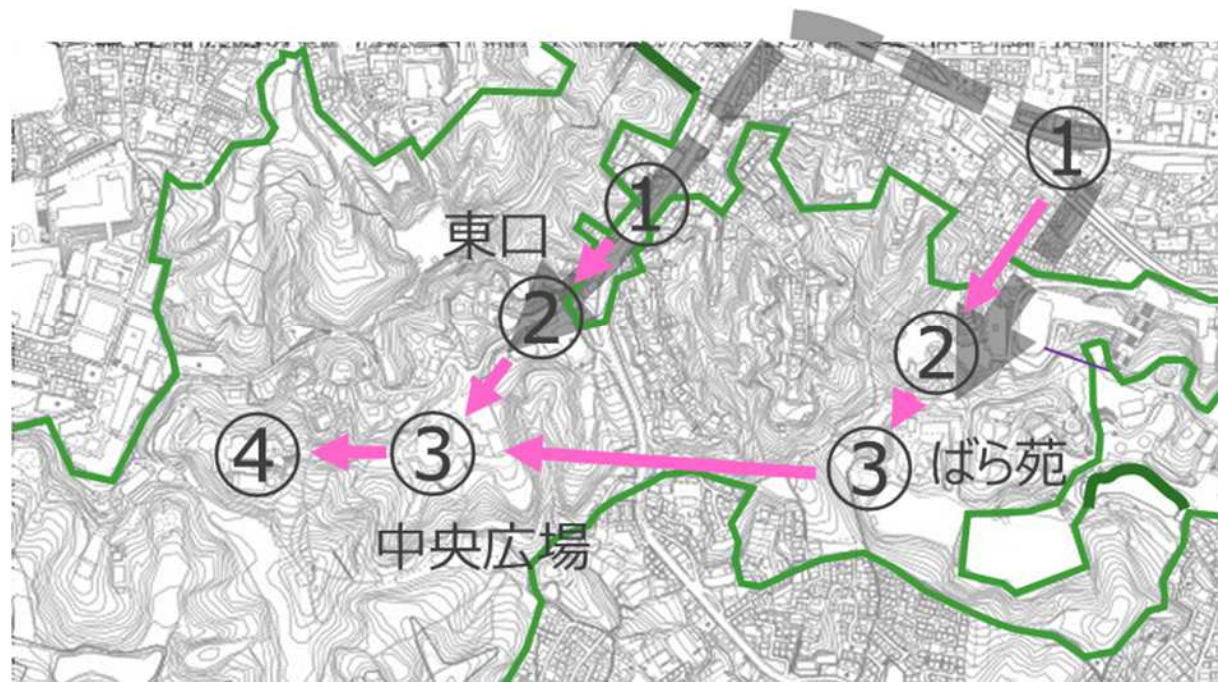
『圧倒的な大自然から、文化・歴史を学び、みどりに触れてみたくなる』

花のもてなしにより、地域の人々の想いを感じながら会場へ到着

- ① 市民によって育てられたまちなかの花・みどりを眺めながら歩みを進める
- ↓
- ② 生田緑地の大きな緑、秘密の花園が現れる
- ↓
- ③ 人と自然の関わりによって育まれたみどりの文化・歴史を学ぶ
- ↓
- ④ 自然を感じ、楽しむ体験を通じて、自然の中で活動する楽しさや喜びを実感する



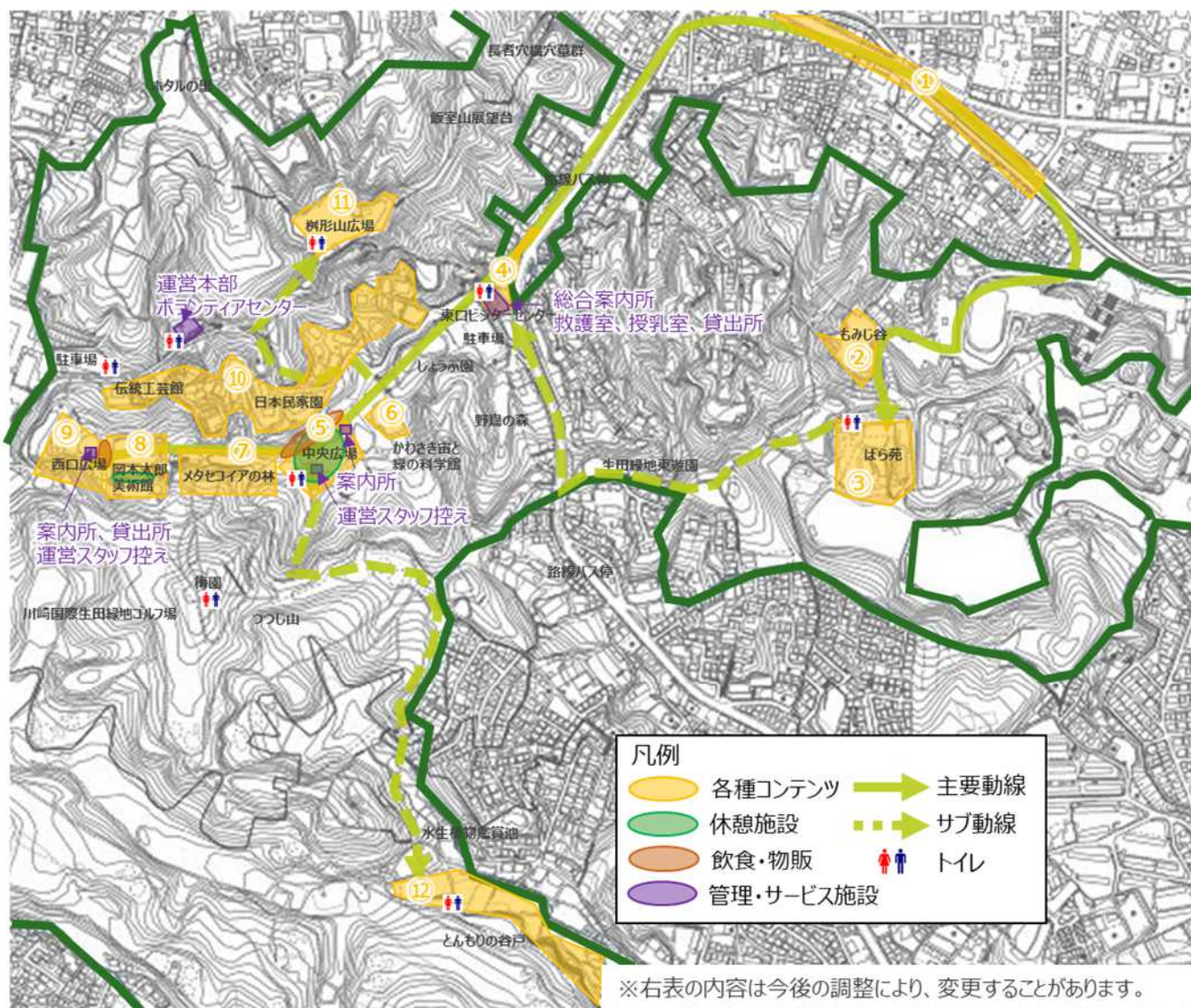
人と自然がつながることの大切さを学び、
みどりに関わりたいという意識の芽生え



4. 行催事等計画 (3) 会場

ウ) 生田緑地の施設配置案

- ・コンセプト「**文化・歴史**」×みどり
- ・市内随一の**緑の宝庫**で、**みどりの文化と歴史**を学ぶ
- ・人と自然がつながることの大切さを実感し、**保全されたみどりの価値**を再認識



※右表の内容は今後の調整により、変更することがあります。

協働のプラットフォームによる魅力発信基地



- ・広い生田緑地内の各所で行われている出展展示を**協働のプラットフォームが自ら魅力を発信**
- ・出展展示をまわるとともに、豊かな自然を感じながら、会場内を散策してもらう
- ・基地を拠点にネイチャーゲームや、植物観察・生き物観察ツアーなどの企画を開催

番号	タイトル	番号	タイトル
①	ばら苑までおもてなし	⑦	生田緑地撮影会
②	アーバンネイチャー体験	⑧	美術館でフラワーレッスン
③	ばら苑観察会	⑨	生田緑地アートピクニック
④	花のお出迎え	⑩	秋の草バッタ教室
⑤	協働のプラットフォームによる魅力発信基地	⑪	木工体験教室
⑥	サイエンスワークショップ	⑫	どろんこ教室

4. 行催事等計画 (3) 会場

オ 協賛・連携会場

ア) 協賛・連携会場の展開イメージ

- ・市内の様々なみどりとオープンスペースを活用し、日常の活動や取組をフェアを通じて発信し、市内全域でフェアを盛り上げる一体感を醸成します。
- ・「市民総参加の実現に向けた考え方」を踏まえた協賛・連携会場の考え方として、令和5年度から魅力的なコンテンツ等の周知と広報を一体的に行い、取組を知り、関わるきっかけとなるよう積極的に取組を進めていきます。



例：多様な主体による利活用が行われている公園
(橘公園・王禅寺ふるさと公園)



例：市民活動が行われている緑地
(菅生緑地)



例：特色のある公園
(夢見ヶ崎公園)

4. 行催事等計画 (3) 会場

イ) 主な協賛・連携会場イメージ

各地域における市民、企業、地域団体等の多様な主体と協働・連携した取組にスポットをあて、それぞれの特色を活かした取組を市内全域で展開します。

(例) 公園緑地、河川、駅前広場、道路空間、庁舎、商業施設・商店街、民有地など



(4) 出展展示

ア 展示の基本的な考え方・展開イメージ

- 各会場のコンセプトに合わせた展示とし、フェア開催前や中断期の協働の取組と一体的な取組を行います。
- 会場となる公園の指定管理者と協議調整し、運用や中断期の取り扱いなどについて検討します。
- 秋と春の2つの期間を設定するかわさきフェアにおいて、内容に応じてより適切な展示期間を設定します。なお、秋と春の2期間ともに展開する展示の規模や場所については秋と春で共通とし、季節に応じた展示を行います。

○川崎の「みどりの歴史」の振り返り

- ・川崎市のみどりの歴史やこれからの川崎の緑について、パネル等を用いて展示し、次の100年に向け川崎市が目指す環境先進都市のあるべき姿を市民とともに考える展示とします。

○壁面緑化の美しさと技術を発信

- ・様々な素材を活用した壁面緑化の手法や技術を使って、実際の壁面を使った色鮮やかなディスプレイで魅せ、平易でわかりやすい言葉を使ったパネルによる解説版を設置し、技術の進歩を実感してもらう展示とします。



写真：展示イメージ



写真：展示イメージ



写真：2023仙台フェア事例
(案内所の壁面緑化)



写真：2023仙台フェア展示事例
(壁面緑化の解説)

4. 行催事等計画 (4) 出展展示

イ 出展の基本的な考え方・展開イメージ

- 秋および春開催期間を共通で実施できるものが多い展示と異なり、出展作品は秋から春にかけて継続して出展することは出展の負担が大きいことや、秋開催期間に予定する全国都市緑化祭等に合わせてコンテスト等を実施する計画としていることから、出展期間は秋開催時期を中心に設定します。
- 春開催期間の展開については、催事等の充実も含めて工夫します。

○企業・団体、学校等 出展庭園コンテスト

- ・造園や園芸関係の企業や団体等の他、神奈川県内の農業系高校からの出展も募ります。
- ・テーマは、みどりを都市の暮らしの中に取り入れるライフスタイルを提案できるものを設定します。

○ハンギングバスケット出展

- ・まちの花飾りの一つの手法である「ハンギングバスケット」について、一般市民（市外・県外在住者含む）から参加を募り、作品に対してコンテストを実施します。
- ・作品はラティスフェンス等への壁掛けタイプとします。



写真：2020ひろしまフェア出展事例
〔「生物多様性配慮」+「心地よさの創出」+「環境負荷の軽減」をテーマ〕



写真：2020ひろしまフェア出展事例
（子どもが育つ庭）



写真：2019信州フェア出展事例
（ハンギングバスケット出展作品）



写真：2022北海道フェア出展事例
（ハンギングバスケット出展作品）

4. 行催事等計画 (5) 植物調達・管理

(5) 植物調達・管理

ア かわさきフェアで使用する花・植物の考え方

1. 『かわさきの花・植物』の活用

① 区の花・区の木を活用

・各区と連携しながら、100周年の1年を通じて様々なイベント等にて区の花・区の木を活用する。

② 地域の花・植物の活用

・植物の調達は、『**市内産→県内産→県外産**』の順で実施する。

・地域の花・植物の調達を推進するため、**JA・造園組合を中心に植物調達体制を構築**する。

・**市民協働による花苗育成を展開**し、会場の花壇等に活用する。

③ 既存の花・植物の活用

・既に植栽されている草花や樹木等の魅力を活かし、引き立たせるような活用を行う。

2. 『市民生活に取り入れやすい花・植物』の活用

① 初心者にも育てやすい花・植物の選定

・フェアをきっかけに**育ててみたくなる**、初心者にも育てやすい花・植物を活用する。

② 様々な環境・ニーズに合わせた花・植物の選定

・屋内、ベランダ、オフィスなど、様々な環境や、市民のニーズに合った花・植物を活用する。

③ 持続可能な景観づくりに向けた花・植物の選定

・100年後も残るかわさきの景観づくりに向け、毎年、花を着け、生き続ける多年草や樹木類を活用する。



1-② | 市内産花卉の活用
Ex) パンジー・ヒオラノガーデンシクラメン



1-③ | 既存植物の活用
Ex) 富士見のソメイヨシノ/ニヶ領用水のハナモモ/等々力のサトザクラ/ハマダイコン/生田のバラ/スミレ類



2-① | ・たねダンゴによる育成
Ex) マリーゴールド/ジニア/ピンカ
・牛乳パックによるポット
Ex) キンギソウ/ヤグルマギク/リナリア



2-② | ・バイオフィリックデザイン
Ex) 室内観葉植物
・キッチンガーデン・エディブルフラワー
Ex) ハーブ類/葉物野菜・根菜類
・アーティフィシャルフラワー ・切り花・切り枝



2-③ | ・ナチュラルスティックガーデン
Ex) グラス類/ハーブ類/球根植物
・グランドカバープランツ・カラーリーフ
Ex) ヒューケラ/シバザクラ/ユーフォルビア

(6) 行催事

ア 基本的な考え方

- 市制100周年記念事業と連携し、これまで培ってきた川崎の魅力や強みを発信する取組を行う。
- 新たなみどりの見せ方や使い方、みどりを活かしたライフスタイル提案などを取り入れ、「川崎らしさ」を「市民総参加」でつくりあげ、発信する。
- 既存の催事や地域の取組と連携した市民発信型の行催事をかわさきフェア開催前から展開する。

イ 展開イメージ

- 川崎の多様性あふれる魅力や強みを市内、全国に発信するための公式行事の実施
- 市民、企業等が主体となったこれまでの取組の成果を発信するコンクール、シンポジウムなどの開催
- かわさきフェア開催前から、市民、企業、団体等と連携した取組による普及啓発、機運醸成
- 他自治体等の参画による自治体間のネットワーク形成・交流に向けた取組 等



(例) 開会式 (R3北海道フェア)



(例) 川崎国際環境技術展



(例) わがまち花と緑のコンクール

4. 行催事等計画 (6) 行催事

ウ 行催事区分

区分		内容 (案)	開催場所 (案)	
主催 行催事	プレイベント	かわさきフェア開催に向けた機運醸成、市民、団体、企業等の参加促進のためのイベント	川崎市役所新本庁舎 他	
	公式 行事	内覧会	フェア開催前に、関係者やマスメディアを招待し、フェアの機運を高める広報宣伝イベント	富士見公園 他
		オープニングセレモニー	各コア会場において、アトラクション及びテープカットを実施	富士見公園、等々力緑地、生田緑地
		総合開会式	開会を記念し、これから始まるフェアのハレの日を、市民、団体、企業等一緒に盛り上げる式典	カルッツかわさき
		総合閉会式	市民総参加でつくりあげ、盛り上げたフェアのハレの日を振り返り、市民、団体、企業等と一緒にフィナーレを飾る式典	カルッツかわさき
		秋・春期セレモニー	秋期のクロージング、春期オープニングの節目に開催	富士見公園、等々力緑地、生田緑地
		全国都市緑化祭	全国都市緑化フェアの中心的行事（都市緑化宣言、コンテスト表彰、植樹祭の開催等）	富士見公園
	節目セレモニー	フェア来場者数等の節目を記念して実施	富士見公園、等々力緑地、生田緑地	
	シンポジウム・フォーラム	川崎らしい都市の中のみどりの価値を発信し、みどりのまちづくりに向けたみどりのあり方などを考えるシンポジウムなどを開催	未定	
	コンテスト	庭園コンテスト、ハンギングバスケットコンテスト 等	富士見公園	
屋内外イベント	ワークショップ、企画展示、講習会 等	富士見公園、等々力緑地、生田緑地		
その他	協働・連携イベント など	・市民、団体、企業、行政等と実行委員会が連携し、フェアを盛り上げる既存又は新規イベント ・市民、団体、企業、行政等が主催し、実行委員会がPR等の面で応援して開催するイベント など		

4. 行催事等計画 (6) 行催事

Ⅰ 実施内容

ア) 主催行催事

○プレイベント (日程：令和5年11月予定)

【フェア開催1年前イベント】1年後に開催するかわさきフェアの機運醸成や市民総参加に向けた参加意識の向上を図るため、フェアのハレの日を想起させる展示やアトラクションを実施し、期待感を高めるとともに、みどりのまちづくりに向けて、みどりが身近にあるライフスタイルの提案などを行う。

- ・プログラム：アトラクション、トークセッション、展示、ワークショップ 他
- ・参加者：地元関係者、イベント関係者、主催者 他
- ・会場：川崎市役所新本庁舎アトリウム など



川崎市役所新本庁舎アトリウム



ローズフェアの様子
@横浜市役所アトリウム

○公式行事

- ・ かわさきフェアの中心となる式典として、フェアのハレの日の節目を飾り、高揚感・期待感を演出。
- ・ 川崎の市民協働による活動の成果を発信し、フェアの趣旨や意義を伝える。
- ・ 市制100周年の象徴的事業にふさわしい、市民総参加でつくりあげるフェアを、市民、団体、企業等と一緒に盛り上げ、発信する。
- ・ 川崎ならではのフェアを全国へと発信する。

●内覧会 (日程：フェア開催2、3日前)

フェア開催間近に、関係者やマスメディアを招待し、フェアに認知度を向上させるとともに、来場者獲得を目指し、開催前の広報宣伝イベントを行う。

- ・ プログラム：会場内覧、スタッフ・ボランティアの運営予行演習
- ・ 参加者：メディア関係者、ボランティア、地元住民、行政関係者 など
- ・ 会場：富士見公園、
等々力緑地
生田緑地



内覧会の様子
(R3北海道フェア)

4. 行催事等計画 (6) 行催事

●オープニングセレモニー

(日程：令和6年10月19日(土))

各コア会場においてアトラクション及びテープカットを実施し、かわさきフェアの始まりを告げるとともに、ハレの日の始まりに対する期待感を高める。

- ・プログラム：地元関係者等によるアトラクション、主催者挨拶、テープカット
- ・参加者：地元関係者、イベント関係者、川崎市長 など
- ・会場：富士見公園、等々力緑地、生田緑地

●総合開会式 (日程：令和6年10月19日(土))

開会を記念し、実行委員会委員、庭園出展者、協力団体、行政関係者(国、県、市)等を招待して式典を行う。

- ・プログラム：オープニングアトラクション、開会宣言、主催者挨拶、来賓紹介、来賓祝辞、表彰式、閉会挨拶
- ・参加者：実行委員会委員、庭園出展者、協力団体、行政関係者(国、県、市) など
- ・会場：カルッツかわさき



テープカットセレモニーの様子
(R3北海道フェア)



アトラクションの様子
(R2熊本フェア)



開会式の様子
(R3北海道フェア)



開会式アトラクションの様子
(R3北海道フェア)

4. 行催事等計画 (6) 行催事

●総合閉会式（日程：令和7年4月13日（日））

市民総参加でつくりあげ、盛り上げたフェアのハレの日を振り返り、市民、団体、企業等と一緒にフィナーレを飾るとともに、フェア以降のみどりのまちづくりに向けた節目とする。また、次期フェア開催地への引継ぎを行う。

- ・プログラム：オープニングアトラクション、主催者挨拶、来賓紹介、来賓祝辞、庭園出展コンテスト表彰式、フェア旗引継ぎ式、次期開催地挨拶、閉会宣言
- ・参加者：実行委員会委員、協力団体、行政関係者（国、県、市） など
- ・会場：カルッツかわさき



閉会式アトラクションの様子
(R2熊本フェア)



引継ぎ式の様子
(R3北海道フェア)

●秋・春期セレモニー

○秋クローズセレモニー

（日程：令和6年11月17日（日））

各コア会場におけるアトラクション等を通じ、かわさきフェア秋開催の終了から、春開催へ向けた市民意識の向上を図る。

- ・プログラム：地元関係者等によるアトラクション、主催者挨拶、春開催に向けた発表
- ・参加者：地元関係者、イベント関係者、川崎市長 など
- ・会場：富士見公園、等々力緑地、生田緑地

○春オープニングセレモニー

（日程：令和7年3月22日（土））

各コア会場においてアトラクション等を通じ、かわさきフェア秋開催の終了から冬を超え、春の訪れを感じつつ、春開催の高揚感を創出する。

- ・プログラム：地元関係者等によるアトラクション、主催者挨拶、テープカット
- ・参加者：地元関係者、イベント関係者、川崎市長 など
- ・会場：富士見公園、等々力緑地、生田緑地

●全国都市緑化祭（フェア開催中の1日）

4. 行催事等計画 (6) 行催事

●節目セレモニー（日程：フェア期間内）

フェアの来場者数が一定数を超えたことなどを記念したセレモニーを開催する。

- ・プログラム：主催者代表等による花束・記念品贈呈、インタビュー、記念撮影 など
- ・参加者：記念来場者、主催者代表、スペシャルサポーター など
- ・会場：富士見公園、等々力緑地、生田緑地

(例) 節目とする数は、100万人などの節目となるものや、川崎市市制100周年にまつわる数字（川崎市誕生年1924年）等により決定する。



節目セレモニーの様子
(R3北海道フェア)

●シンポジウム・フォーラム（日程：フェア期間内）

川崎らしい都市の中のみどりの価値を発信する機会として、市民協働による活動の成果や市民のライフスタイルに溶け込むみどりのあり方について、川崎にゆかりのある方や有識者、ゲスト等によるシンポジウムを開催。

●コンテスト

出展形態	実施期間	出展区分	会場	テーマ
庭園出展	フェア期間中	企業・団体、等	富士見公園	「新たなライフスタイル」や「身近なみどり」をテーマとして設定
ハンギングバスケット	フェア期間中	個人	富士見公園	未定

○庭園コンテスト

- ・審査対象：企業・団体等による出展庭園
- ・審査時期：秋開催の数日前
- ・審査員：学識経験者、造園関係の専門家、国、主催者
- ・賞体系：金賞、銀賞、銅賞、その他国、主催自治体の長、造園関係団体の長からの賞など
- ・表彰：全国都市緑化祭又は閉会式

○ハンギングバスケットコンテスト

- ・審査対象：ハンギングバスケット作品
- ・審査時期：秋開催期間内
- ・審査員：ハンギングバスケット、園芸関係の専門家、国、主催者
- ・賞体系：金賞、銀賞、銅賞、その他国、主催自治体の長、園芸関係団体の長からの賞など
- ・表彰：閉会式又はフェア開催期間中

4. 行催事等計画 (6) 行催事

●屋内外イベント

○屋内イベント

- ・屋内における緑化の魅力伝え、来場者の緑化に対する意識や関心を高める。
- ・川崎市の市民活動の紹介や作品の展示を行う。

<富士見エリア>

- ・川崎のみどりの歴史を振り返る展示（富士見公園パークセンター）
- ・本庁舎アトリウムを活用した展示（川崎市役所本庁舎）

○屋外イベント

- ・各会場にあわせて、フェアにおける緑化の魅力伝え、来場者の緑化に対する意識や関心を高める。
- ・川崎市の市民活動の紹介や作品の展示を行う。

<等々力エリア>

- ・等々力緑地再編整備事業者と連携した展示（等々力緑地催し物広場） など

イ) その他（協働・連携イベントなど）

- ・市民、団体、企業、行政等と実行委員会が連携し、フェアを盛り上げる既存又は新規イベント



(例) 花と緑の市民フェア 等



(例) Vege & Art Fes 等

- ・市民、団体、企業、行政等が主催する各種イベントやシンポジウム・フォーラム 等



(例) 多摩・三浦丘陵の市民と緑をつなぐシンポジウム



(例) わがまち花と緑のコンクール

- (例) 全国造園デザインコンクール（一般社団法人日本造園建設業協会） など

4. 行催事等計画 (7) 協賛金

(7) 協賛金

ア 基本的な考え方

市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会が主催する記念事業の趣旨及びプロジェクトやイベントごとに設定する協賛特典に対して、賛同いただいた企業、団体等から協賛をいただき、記念事業に取り組んでいきます。

イ 協賛の全体イメージ

区分		協賛メリット	
資金協賛	オフィシャル	プラチナ～ブロンズパートナー	企業価値の向上 ①ブランディング視点 ・企業名やロゴ露出による企業認知率の向上 ・100周年活動への協力していることによる、企業ブランドイメージの向上 ・川崎市の価値向上やみどりの活動への貢献による、社会貢献イメージの向上 ②ビジネスへの貢献 ・自社の商品やサービスの提供や露出による、販売促進効果の向上 ③インナーブランディング/チームビルディング ・社会貢献している企業に所属することによる、従業員の士気向上や人材確保への好影響、イベントに参加することによる従業員のコミュニケーションの活性化
		ゴールドサプライヤー	
		サプライヤー	
		ゴールドメディアパートナー	
		メディアパートナー	
物品協賛	オフィシャル	ゴールド	返礼等の対価有無 ①緑化フェア/フェス&カンファレンス会場が充実すること ②応援により川崎が新たな1歩を踏み出している満足感 ③地元への貢献や応援を通じた社会貢献 ①自身が興味を持って寄付したプロジェクトの完成 ②魅力的なリターン ①興味のあるイベントに参加した経験と楽しい思い出 ②記念事業や緑化フェアのチカラになれている満足感 記念事業へのお祝い、まちの緑化のチカラになれた満足感
		サポート	
		クラウドファンディング	
		イベント売上の一部を募金	
広告協賛	オフィシャル	イベントでの募金・寄付	

ウ 想定される協賛特典メニュー表 (案)

● 名称使用权	「オフィシャル〇〇パートナー」名称使用权
● 広報・製作物	広報・宣伝への企業・団体名掲載 協賛企業ボードへの企業・団体名掲載 会場内エリアへの企業・団体名表示 ガイドブックへの企業・団体名掲載 HPへの企業・団体名掲出・リンクの設定 HP記事・ニュースレター・SNS等への企業・団体名掲載 公式記録誌への企業・団体名・氏名掲載 記念誌の贈呈 実行委員会ユニフォームへの企業・団体ロゴ掲載
● 記念式典 (緑化フェア公式行事除く)	会場内広報 プログラム・ガイドブックへの企業・団体名掲載
● その他	市民総参加プロジェクトへの参加

※詳細は、今後、市制100周年記念事業と調整の上、決定

※そのほか、イベント売上の一部募金やイベントでの募金・寄付を実施

4. 行催事等計画 (8) 飲食・物販

(8) 飲食・物販

ア 基本的な考え方

- 生産者や飲食店等と連携・協力して、地域の農産物や特産品等を使用した川崎ならではの魅力ある飲食・物販サービスを提供します。
- SDGsの要素を取り込んだ衛生面や環境面に配慮したサービスを提供します。
- みどりを生活に取り入れる仕掛けや仕組みを取り入れます。
- 市民が様々な形で参加できる仕組みを推進します。



市内名産品

「かわさき名産品 2021▶2023」【発行】かわさき名産品認定事業実行委員会
Copyright © KAWASAKI CITY TOURIST ASSOCIATION



「川崎市市制100周年」応援デザイン
「ニュータンメン」カップめんの全国発売
(写真提供：サンヨー食品株式会社)

イ 展開イメージ

(飲食)

- ・川崎市の農産物等を使用した料理や川崎市ならではの食文化の発信につながるご当地グルメ等の提供
- ・容器のリユース・リサイクルなどの環境に配慮した取組の推進
- ・エリア内の商店街や飲食店等をめぐりながら、オリジナルメニューを堪能するなど、川崎市の食の魅力を体感できるプログラムの提供等

(物販)

- ・生産者や飲食店、商店街や民間事業者等と連携した川崎市の特産品の提供

◆想定される出店者

- 川崎市内営業飲食店
- JAセレサ川崎
- 川崎ものづくりブランド認定品
- 園芸用品や自然素材を使用した工芸品などを扱う民間事業者
- 環境面で評価を得ている民間事業者
- 市内大学等
- 市内障がい者支援団体、福祉団体等

(9) 会場運営・管理、交通輸送

ア 会場運営・管理

ア) 基本的な考え方

- 市民、地域の活動団体、NPO、学校、企業等の多様な主体と連携・協働した会場運営の手法を導入し、環境や安全面に配慮するとともに、誰もが快適に参加できるような適切な会場運営を行います。
- 市民等が広く参加できるボランティア活動等の仕組みを構築し、様々な運営に関わってもらう機会を創出します。
- 様々な技術やノウハウを有する企業や公園施設の指定管理者等と連携し効率的な会場運営、環境面に配慮した取組を推進します。
- 環境先進都市にふさわしい環境負荷低減を意識した会場運営・管理を行います。

イ) 具体的な取組

<会場運営>

- ・案内所等を設置し、車イスやベビーカーの貸出し、授乳室・救護室、情報発信などの来場者サービスを展開します。
- ・会場内を巡回し、来場者への案内及び会場内の情報収集を行います。
- ・障害者や高齢者、外国人等の様々な来場者が快適に各会場で過ごせるような場内環境を提供します。
- ・タブレットや筆談ボードを活用し、手話・外国語通訳を必要とする来場者への対応を行います。
- ・フェア全体の様々な情報を一元化し、「来場者向けの情報」や「関係者向けの情報」に整理をしてそれぞれに正確な情報提供を行うために、情報センターを富士見公園に配置します。

4. 行催事等計画 (9) 会場運営・管理、交通輸送

<会場管理>

- ・ 快適で安全な空間を創出するために必要な運営業務の設定や来場者サービスの提供、各施設の設置を計画します。
- ・ 来場者に安全・安心・快適に楽しんでいただける会場維持のため、会場内の巡回、警備、救護体制、清掃計画、危機管理体制を策定し総合的な会場管理を行います。
- ・ 環境負荷低減に寄与する資材の使用や取組の発信を行います。
- ・ 市民等が広く「かわさきフェア」に参加できるボランティアの活動内容の構築を行い、来場者の皆様に親しみやすく温かみがあるサービスを提供します。
- ・ 各会場にボランティア活動の拠点となるボランティアセンターを設置し、センター補助ボランティア、会場サービスボランティアや会場内巡回サポートボランティア、植物維持管理ボランティアなどのボランティアの全体管理などを行います。



写真：運営本部
(信州フェア事例)



写真：情報センター
(くまもとフェア事例)



写真：ボランティアセンター
(信州フェア事例)



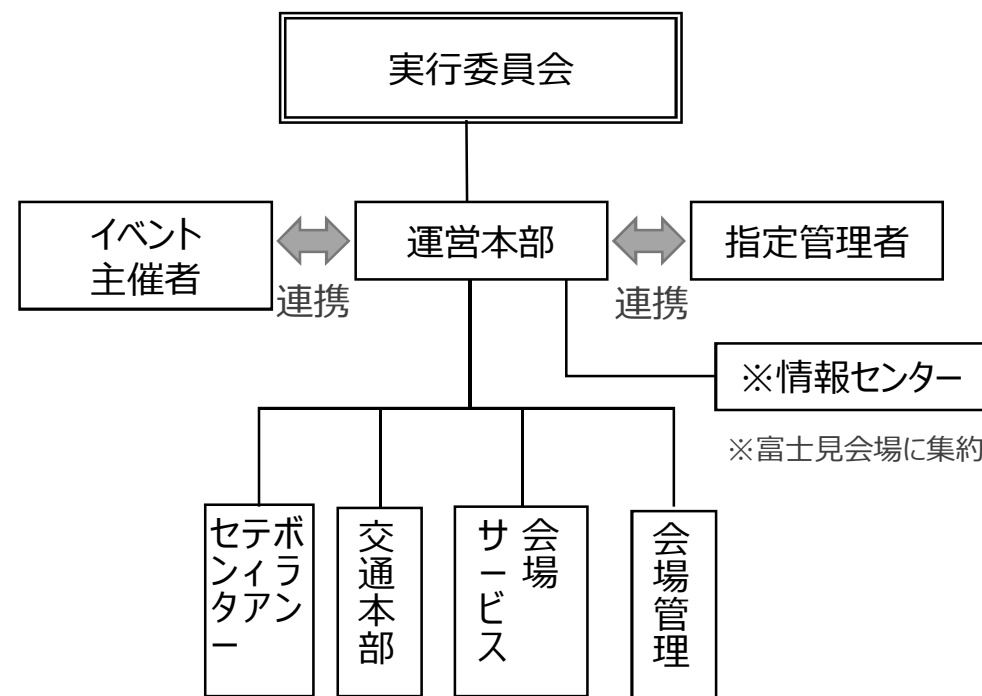
写真：総合案内所
(くまもとフェア事例)



写真：会場警備
(くまもとフェア事例)



写真：清掃
(くまもとフェア事例)



各会場の管理運営体制 (案)

4. 行催事等計画 (9) 会場運営・管理、交通輸送

イ 交通輸送

ア) 基本的な考え方・展開イメージ

- 公共交通機関の利用を前提とし、来場者の誰もが、安心、安全、快適に最寄り駅からコア会場へ移動できるよう、みどりを感じながら、歩いて楽しめるようおすすめルートを案内します。
- 南部、中部、北部に分かれるコア会場は、3つのコア会場を1日で移動するための輸送手段は設定せず、それぞれの地域資源（エリア）を楽しんでもらうよう案内します。
- 地域特性や交通事情、環境への配慮を踏まえつつ、既存の公共交通機関に加え、公共交通を補完する交通サービスや会場内での移動をサポートする交通サービスを展開します。

最寄駅からコア会場への来場ルート

富士見公園



等々力緑地



生田緑地



※路線バスは駅北側から生田緑地西口方面等も存在

イ) 実施内容

<駅からの交通誘導>

- ・ 最寄り駅から会場へのおすすめルートにおいて、会場外に周辺誘導要員を配置し、会場までの誘導案内を行います。
- ・ 誘導案内については、**会場外周辺巡回サポートボランティア**など、地域の協力や既存団体と連携し、**来場者をお出迎えする体制づくり**を進めます。
- ・ エリアにおけるフェアと連携した様々な取組と併せて、会場にわかりやすく来場できるよう空間づくりを進めます。

<駅と会場間等の交通サポート>

- ・ 各会場とも最寄駅から公共交通（路線バスやタクシー）による移動手段が確保されていることから、来場者にわかりやすい適切な案内を実施します。
- ・ 生田緑地においては、施設間が離れていることや会場内に高低差があることから、**多様な交通手段を活用しながら、回遊性の向上を目的とした快適な移動手段を展開**します。

<駐車場・駐輪場対策>

- ・ 自転車来場について、**シェアサイクル等の利用推進**や混雑時の**臨時駐輪場所の確保**などの対策を講じます。
- ・ 会場周辺の違法駐車対策やホームページ等における公共交通利用の呼びかけ等を実施し、一般交通への影響の軽減を図ります。